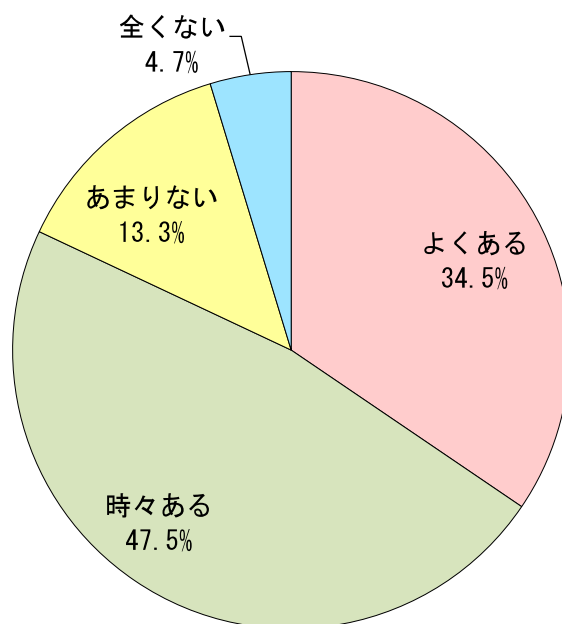


自転車利用実態調査結果（評価指標（１）関連設問）

問 8-1 京都市内を歩いていて、自転車を危険に感じたことはありますか。

- 「時々ある」が 47.5%と最も多いです。
- 2 位「よくある」が 34.5%です。
- 3 位「あまりない」が 13.3%です。
- 「全くない」が 4.7%と最も少ないです。
- 「全くない」を除いた「危険に感じたことがある」割合は昨年 R4（2022）年より減少しているが、9 割以上の方が「市内を歩いていて、自転車を危険に感じたことがある」と感じています。
- 自転車の利用の有無では、自転車を利用していない方の方が自転車を危険に感じたことが「よくある」の回答が多いです。

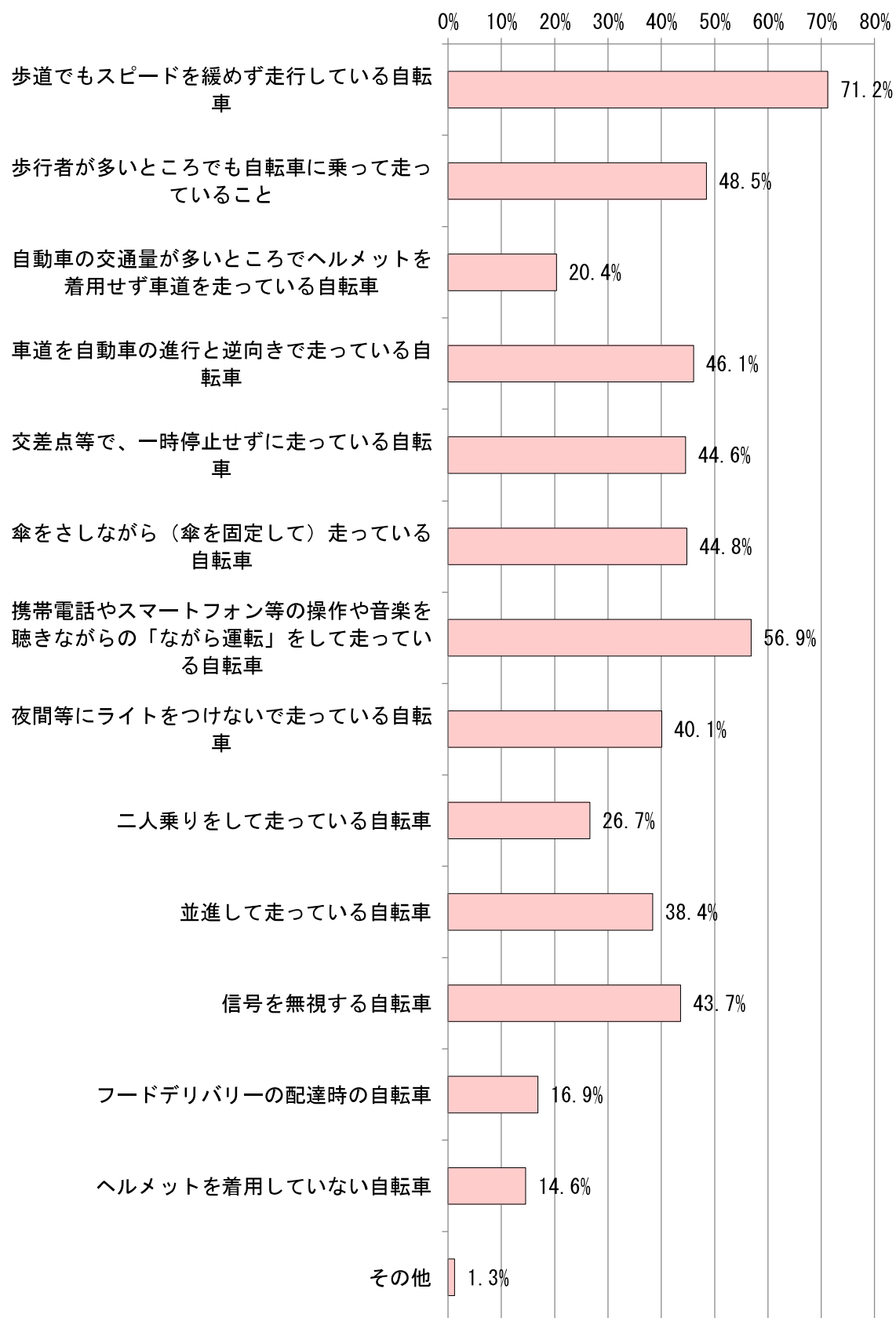
項目	回答数	割合
よくある	345	34.5%
時々ある	475	47.5%
あまりない	133	13.3%
全くない	47	4.7%
計	1000	100%



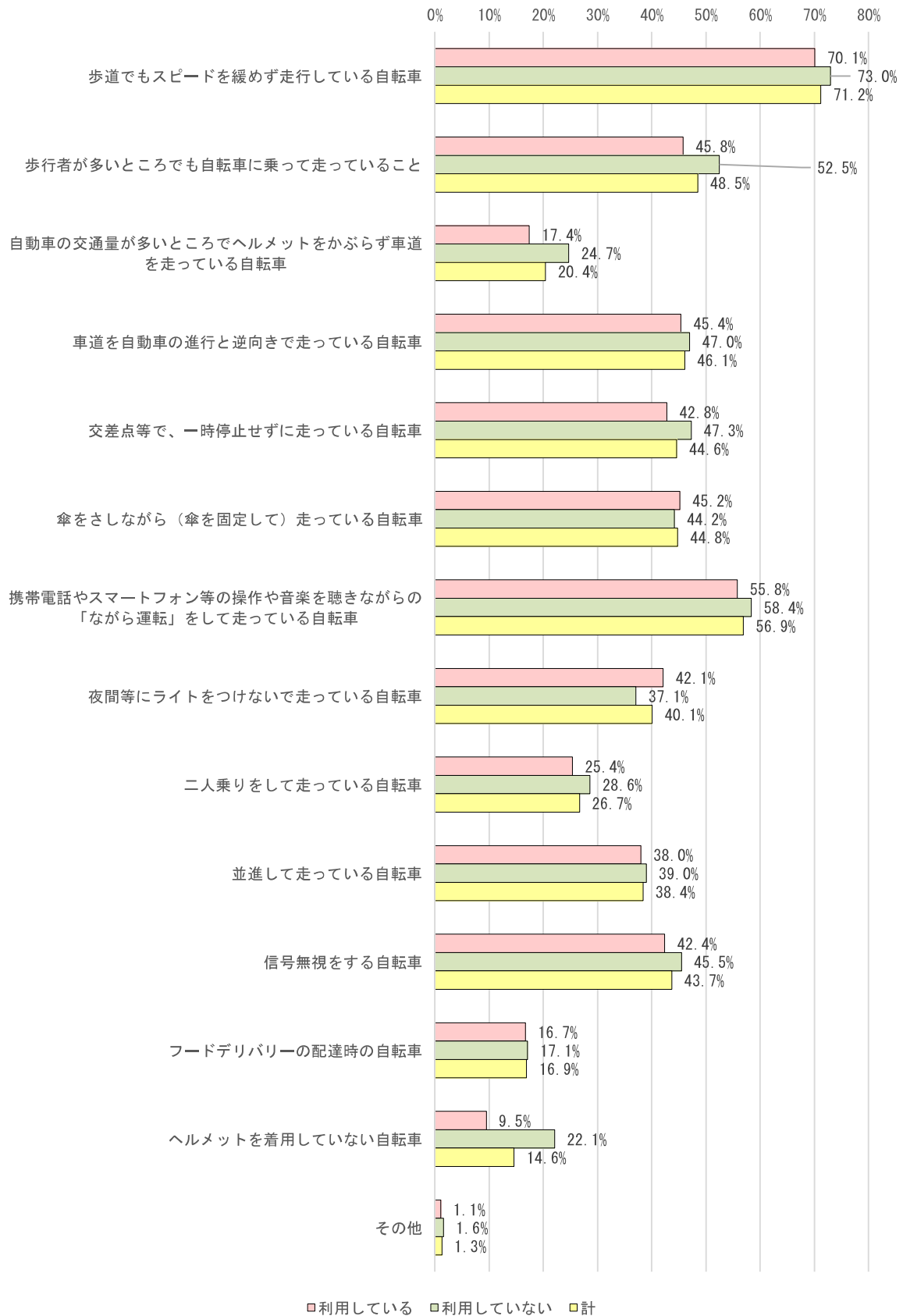
問 8-2 問 8-1 で「4 全くない」と答えた方以外の方にお伺いします。京都市内を歩いている、自転車利用者の走行で危険を感じたり、危険に思ったりする行為は何か。（複数回答可）

- 「歩道でもスピードを緩めず走行している自転車」が 71.2%と最も多いです。
- 2 位「携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をして走っている自転車」が 56.9%です。
- 3 位「歩行者が多いところでも自転車に乗って走っていること」が 48.5%です。
- 自転車の利用有無に関わらず、「歩道でもスピードを緩めず走行している自転車」が一番高く、次に「携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をして走っている自転車」が多い結果となりました。
- 「フードデリバリーの配達時の自転車」は年々減少しています。
- 「ヘルメットを着用していない自転車」及び「自転車の交通量が多いところでヘルメットを着用せず車道を走っている自転車」は昨年よりも倍増しています。2023 年 4 月 1 日からヘルメットの着用が努力義務となったため、ヘルメットを着用せず走っている自転車が危険と感じる方が増加したと考えられます。

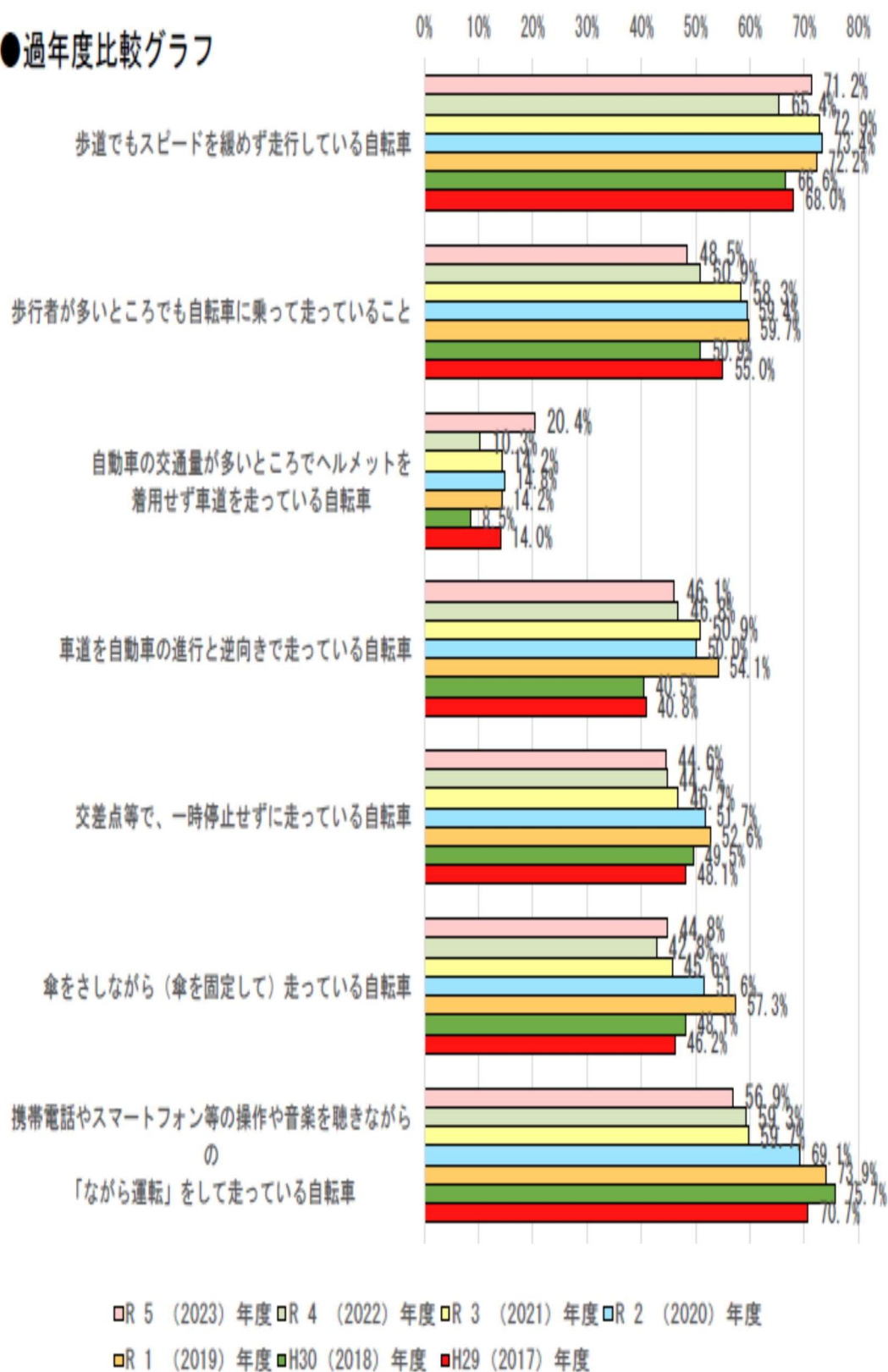
項目	回答数	割合
歩道でもスピードを緩めず走行している自転車	679	71.2%
歩行者が多いところでも自転車に乗って走っていること	462	48.5%
自動車の交通量が多いところでヘルメットを着用せず車道を走っている自転車	194	20.4%
車道を自動車の進行と逆向きで走っている自転車	439	46.1%
交差点等で、一時停止せずに走っている自転車	425	44.6%
傘をさしながら（傘を固定して）走っている自転車	427	44.8%
携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をして走っている自転車	542	56.9%
夜間等にライトをつけないで走っている自転車	382	40.1%
二人乗りをして走っている自転車	254	26.7%
並進して走っている自転車	366	38.4%
信号を無視する自転車	416	43.7%
フードデリバリーの配達時の自転車	161	16.9%
ヘルメットを着用していない自転車	139	14.6%
その他	12	1.3%
回答数 計	4898	－
回答者数	953	－

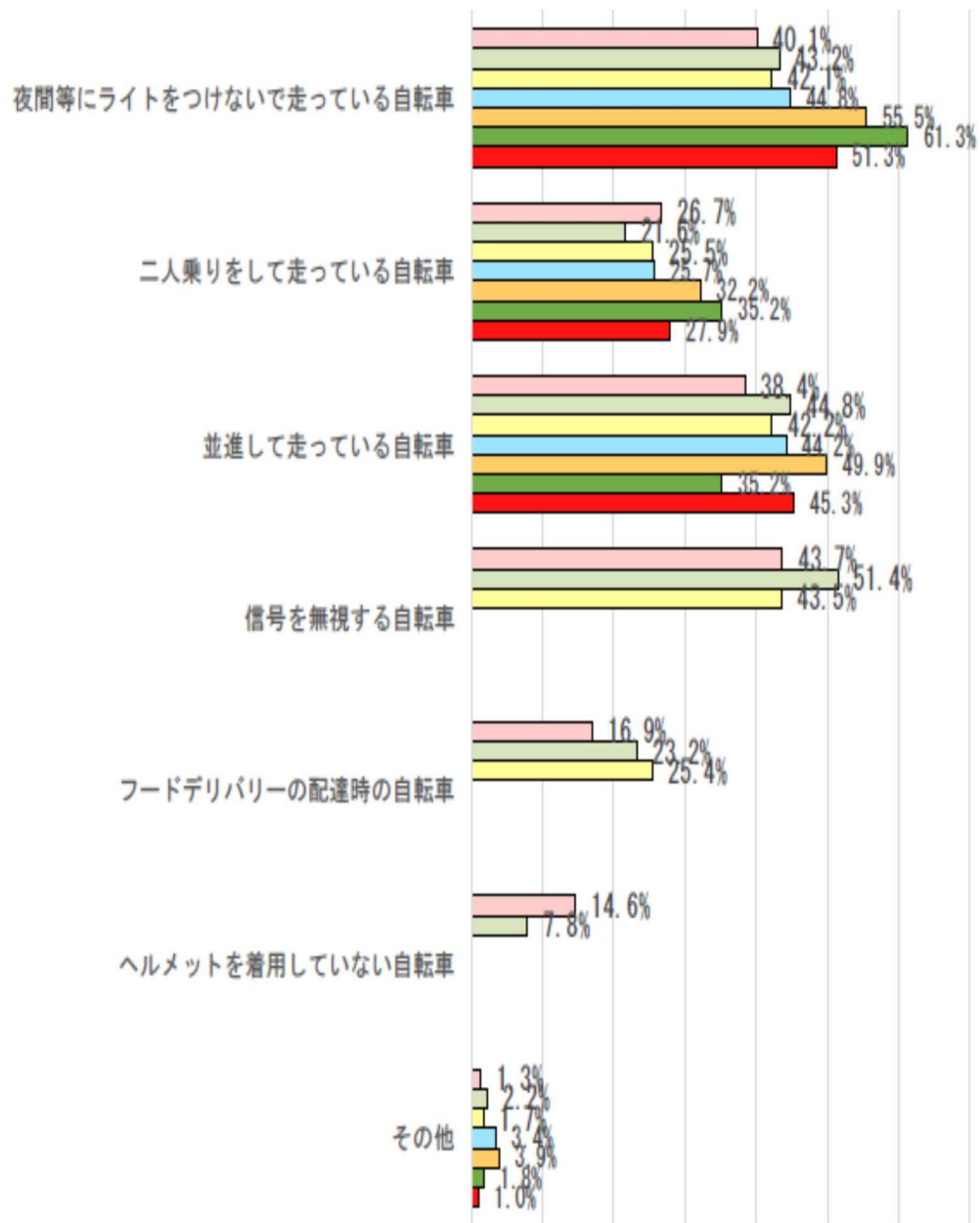


●利用別グラフ



●過年度比較グラフ





□ R 5 (2023) 年度 □ R 4 (2022) 年度 □ R 3 (2021) 年度 □ R 2 (2020) 年度
 □ R 1 (2019) 年度 ■ H30 (2018) 年度 ■ H29 (2017) 年度

問 22 あなたが自転車のルール・マナーで、守っていないと思うものについて（自転車を利用しない方は、自転車利用者を見て、守っていないと思うものについて）5 つまでお答えください。

- 「ヘルメットを着用する」が 34.1%と最も多いです。
- 2 位「車道走行が原則で、車道の左側を通行する」が 22.3%です。
- 3 位「人の多い道路では自転車に乗らずに押し歩きをする」が 21.4%です。
- 昨年度と比較すると、「ヘルメットを着用する」が 22.2 ポイント減少しており、過去最低の数値となりました。2023 年 4 月 1 日からヘルメット着用が努力義務化になったためと考えられます。
- 全体的に自転車のルール・マナーで守っていないと思うものの割合が昨年度より低くなっています。

項目	回答数	割合
車道走行が原則で、車道の左側を通行する	223	22.3%
歩道で走るときは車道寄りを走る	184	18.4%
歩道で走るときはすぐに止まれるスピードで走る	167	16.7%
人の多い道路では自転車に乗らずに押し歩きをする	214	21.4%
信号のない交差点では、歩行者や自転車・車等車両の通行がないか確認する	88	8.8%
必ず信号を守る	161	16.1%
携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をしない	182	18.2%
傘さし運転はしない	176	17.6%
暗いときはライトをつける	97	9.7%
二人乗りはしない（小学校就学の始期に達するまでの子を乗車させる場合は除く）	58	5.8%
横に並んで走らない	120	12.0%
飲酒運転はしない	68	6.8%
一時停止を守る	120	12.0%
歩道を通行できる例外を除いて、歩道を走ってはいけない	161	16.1%
交差点を右折するときには二段階右折をする	131	13.1%
ヘルメットを着用する	341	34.1%
あてはまるものはない	175	17.5%
その他	5	0.5%
回答数 計	2671	－
回答者数	1000	－

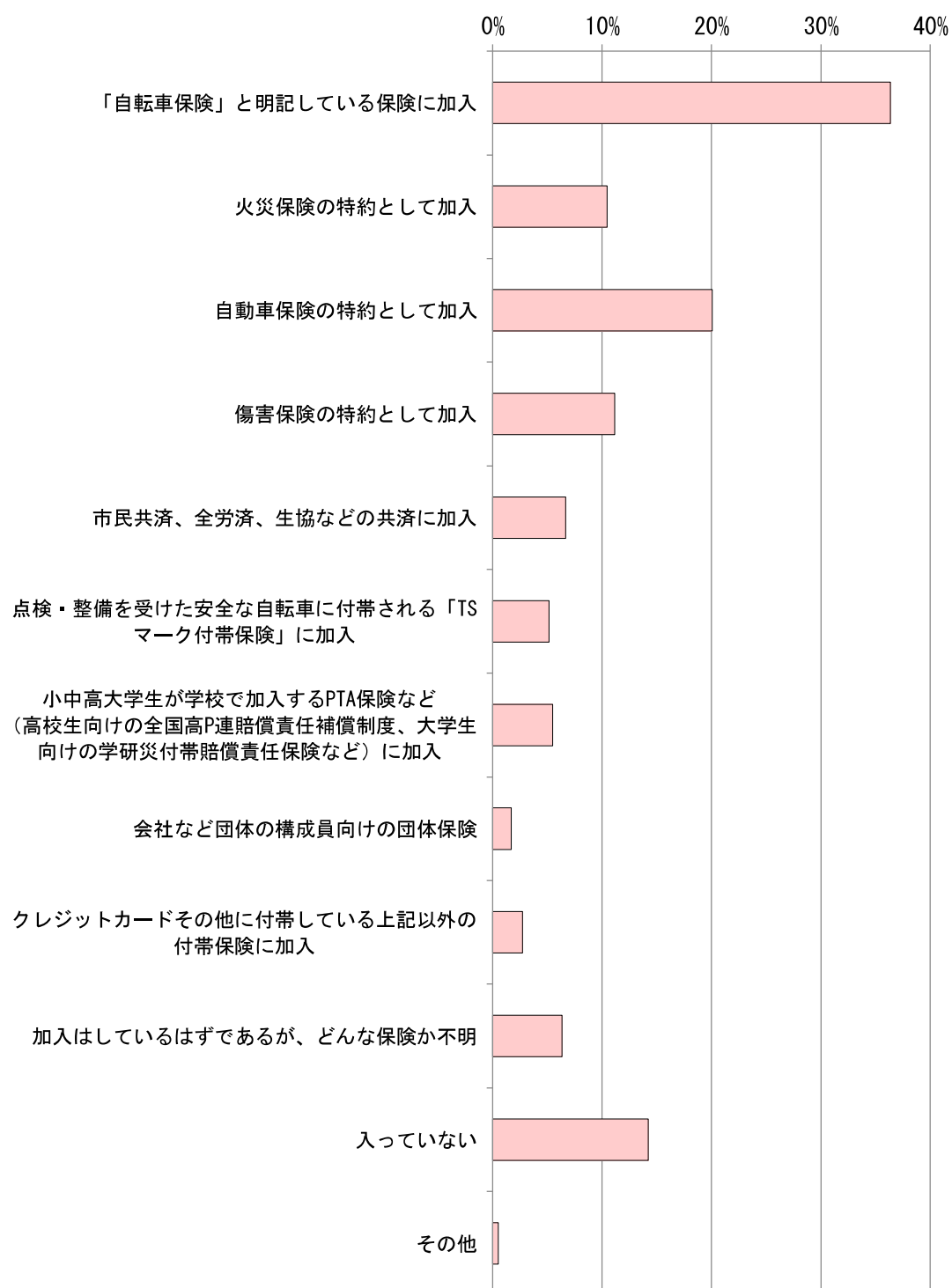
自転車利用実態調査結果（評価指標（２）関連設問）

（６）自転車の安全利用について

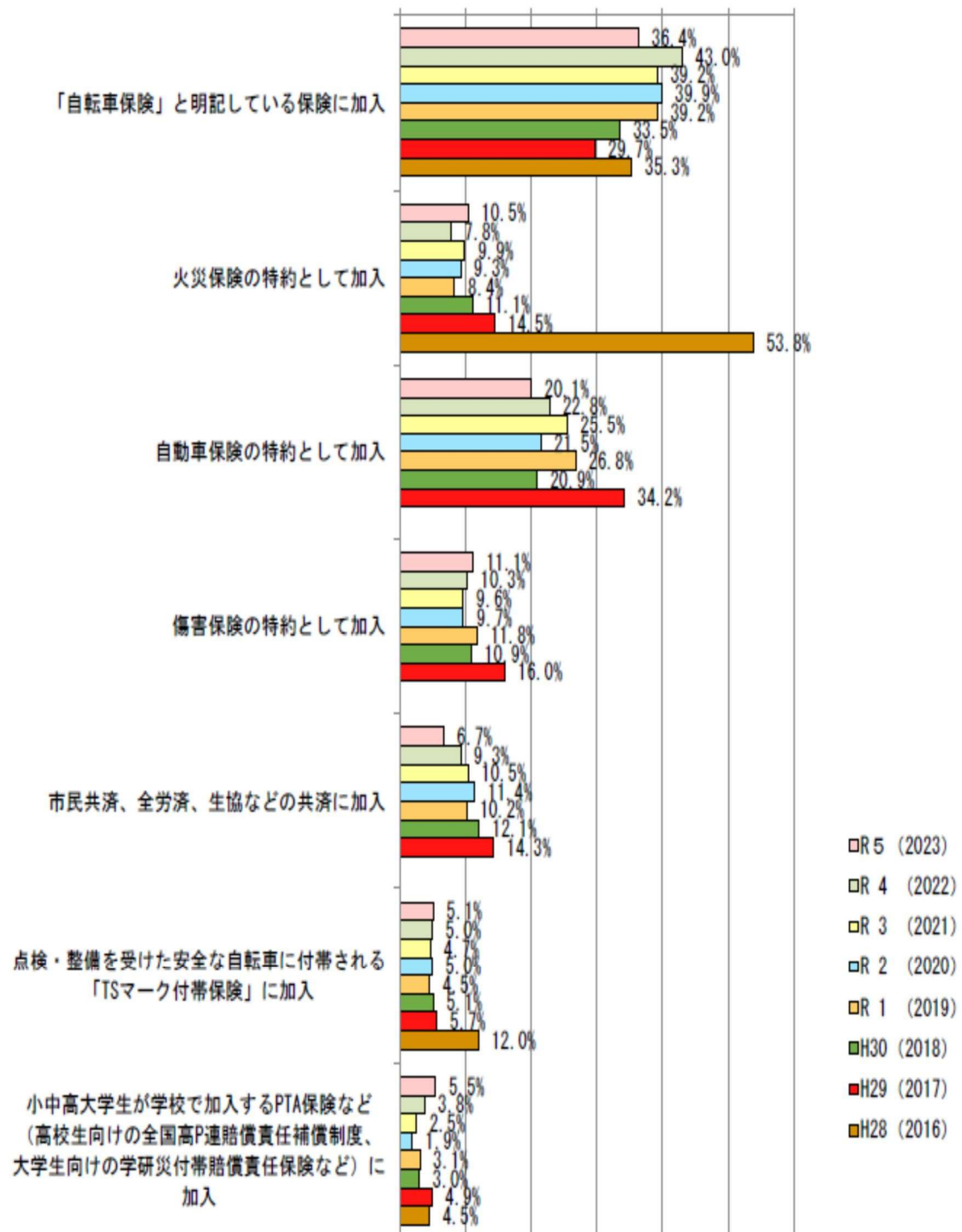
問 19 あなた又はあなたの家族は自転車保険に入っていますか。【自転車保険の説明】 自転車保険は様々な種類があり、自転車保険と明記されている保険以外にも、火災保険・自動車保険・傷害保険などに「個人賠償責任保険特約」として付帯されているもの、共済や会社、PTA の保険用に団体で加入するもの、自転車車体にかける TS マーク付帯保険、クレジットカード付帯保険などがあります。また、保険契約者の同居の家族を対象にするものもあり、本人が気づかないうちに加入しているものもあります。 ※ 回答前に保険加入チェックシートで自転車保険の加入状況を御確認のうえ、あてはまるものすべてお答えください。 <https://kyoto-bicycle.com/insurance>

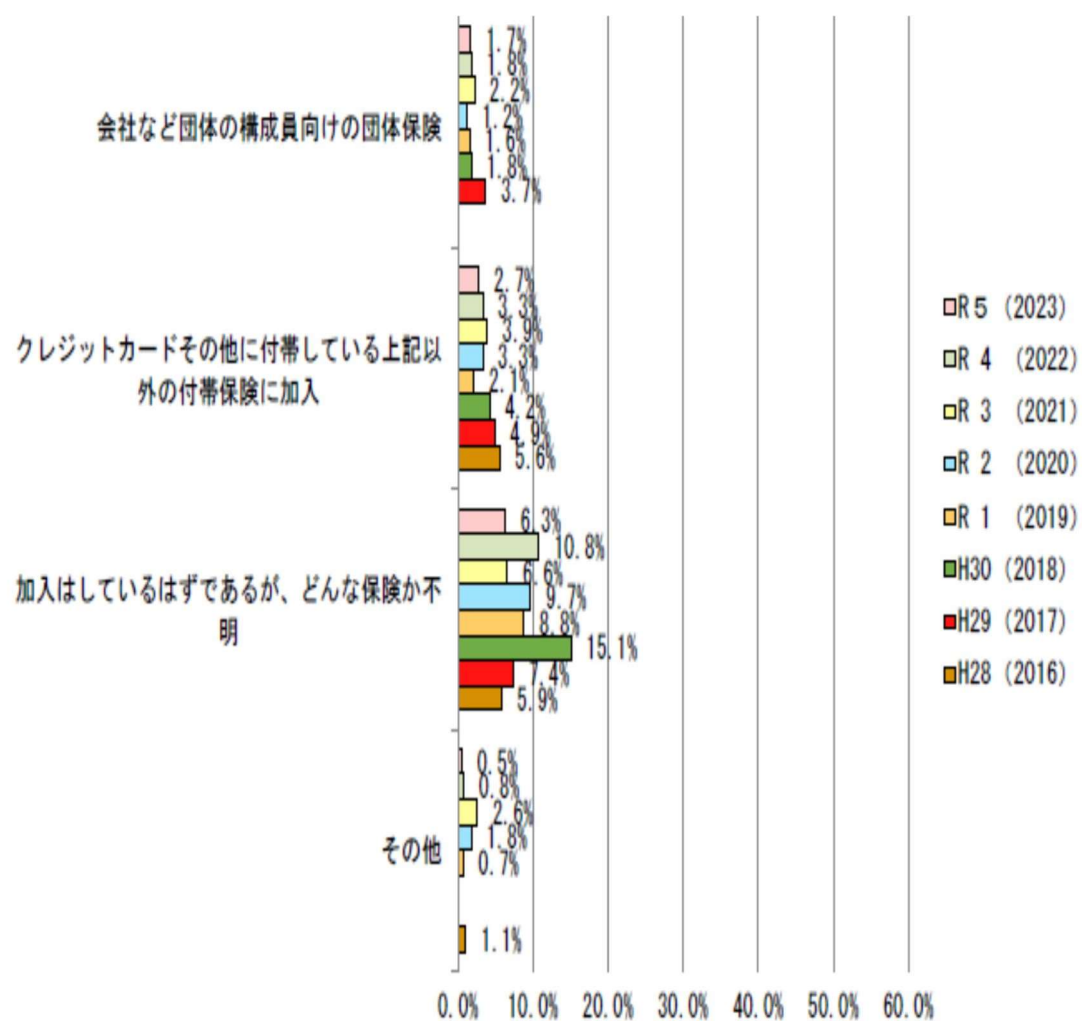
- 自転車保険の加入については 86.1%加入しているとの回答でした。
- 過年度でみると、自転車保険の加入は、昨年度までは増加していたが、今年度は減少しました。（前回 88.4%）
- 加入している保険については、「「自転車保険」と明記している保険に加入」が 36.4%と最も多く、次いで「自動車保険の特約として加入」が 20.1%でした。
- 過年度でみると、「「自転車保険」と明記している保険に加入」が昨年より 6.6 ポイント減少しています。

項目	回答数	割合
「自転車保険」と明記している保険に加入	212	36.4%
火災保険の特約として加入	61	10.5%
自動車保険の特約として加入	117	20.1%
傷害保険の特約として加入	65	11.1%
市民共済、全労済、生協などの共済に加入	39	6.7%
点検・整備を受けた安全な自転車に付帯される「TS マーク付帯保険」に加入	30	5.1%
小中高大学生が学校で加入する PTA 保険など（高校生向けの全国高 P 連賠償責任補償制度、大学生向けの学研災付帯賠償責任保険など）に加入	32	5.5%
会社など団体の構成員向けの団体保険	10	1.7%
クレジットカードその他に付帯している上記以外の付帯保険に加入	16	2.7%
加入はしているはずであるが、どんな保険か不明	37	6.3%
入っていない	81	13.9%
その他	3	0.5%
回答数 計	705	－
回答者数	583	－

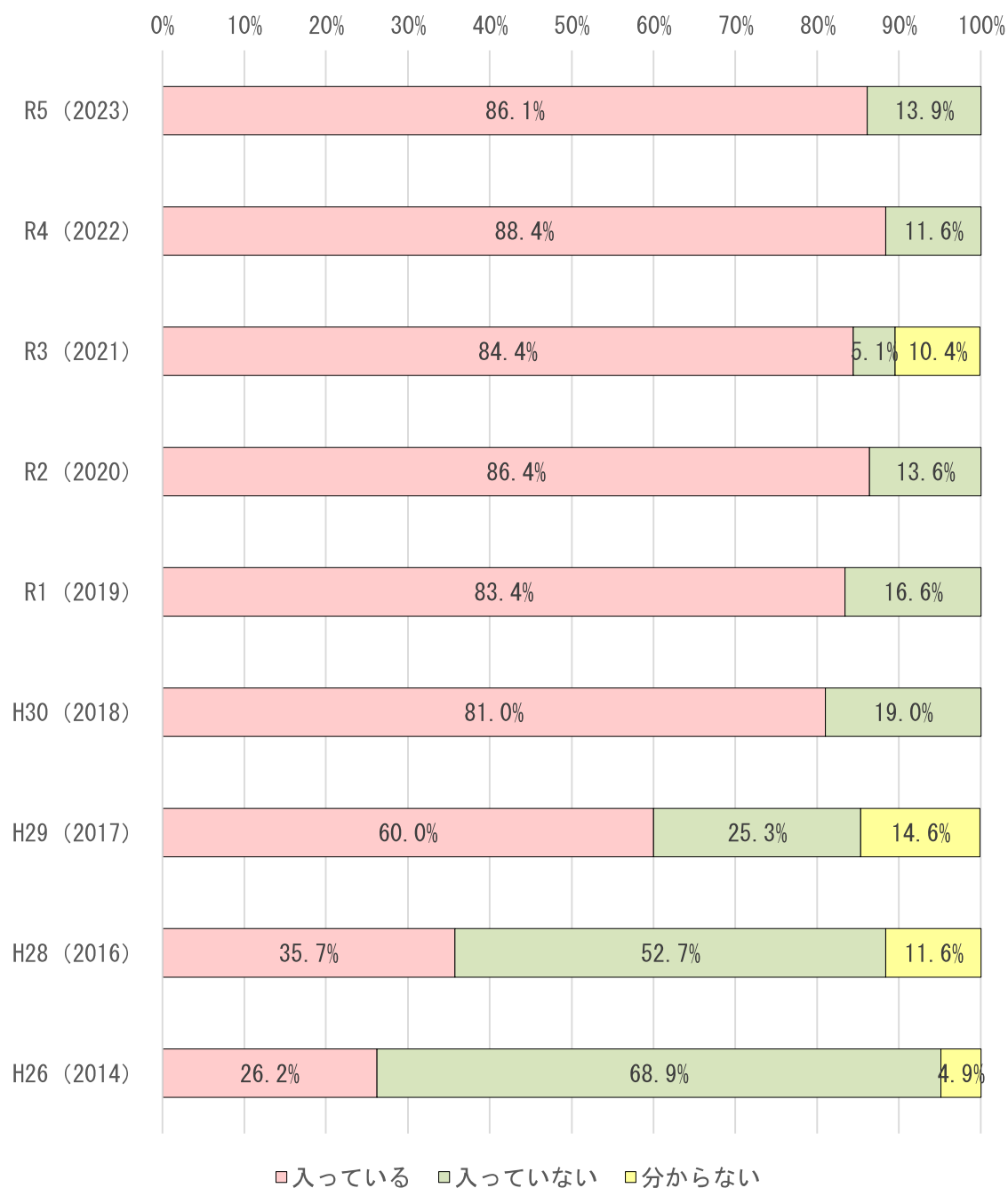


●過年度比較グラフ





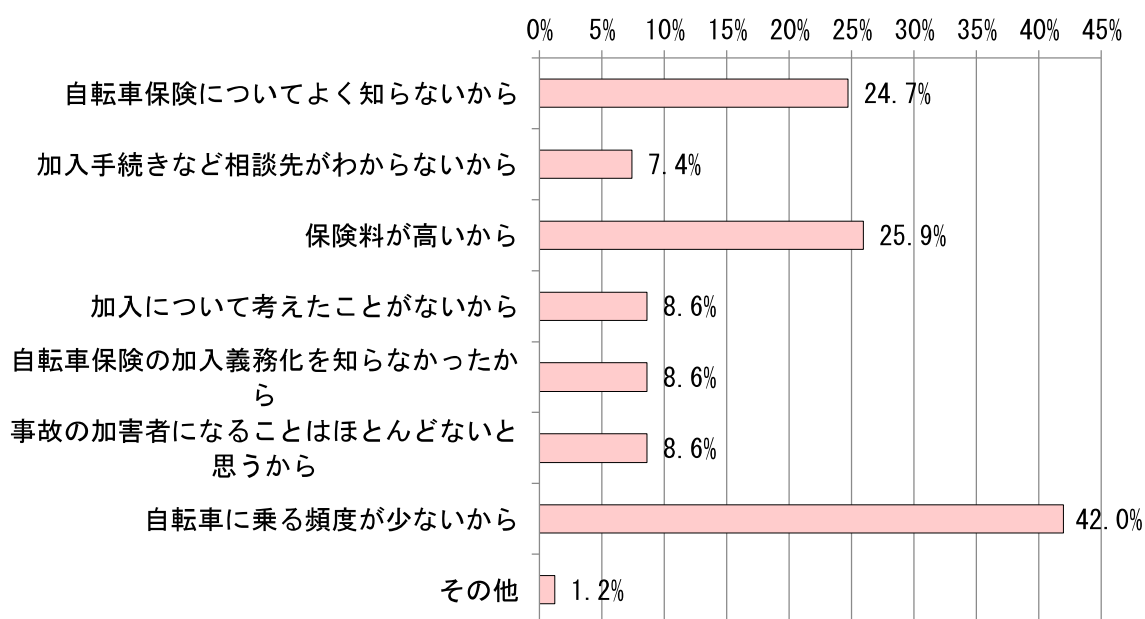
項目	回答数	割合
自転車保険に加入している	502	86.1%
自転車保険に加入していない	81	13.9%
回答数 計	583	–
回答者数	583	–



問 20 加入しない理由はどれですか。当てはまるものをすべてお選びください。
(複数回答可)

- 「自転車に乗る頻度が少ないから」が 42.0%と最も多いです。
- 2 位「保険料が高いから」が 25.9%です。
- 40 歳代では、「自転車保険についてよく知らないから」が最も多く、それ以外の年代では「自転車に乗る頻度が少ないから」と回答した方が最も多いです。
- 「18 歳～24 歳」「30 歳代」「60 歳代」では、3 割以上の方が「保険料が高い」と感じています。

項目	回答数	割合
自転車保険についてよく知らないから	20	24.7%
加入手続きなど相談先がわからないから	6	7.4%
保険料が高いから	21	25.9%
加入について考えたことがないから	7	8.6%
自転車保険の加入義務化を知らなかったから	7	8.6%
事故の加害者になることはほとんどないと思うから	7	8.6%
自転車に乗る頻度が少ないから	34	42.0%
その他	1	1.2%
回答数 計	103	—
回答者数	81	—



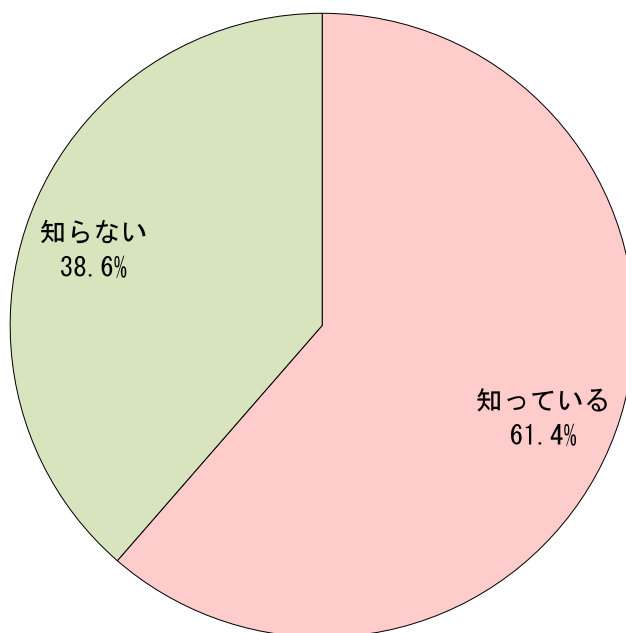
自転車利用実態調査結果（評価指標（3）関連設問）

（4）自転車の走行環境について

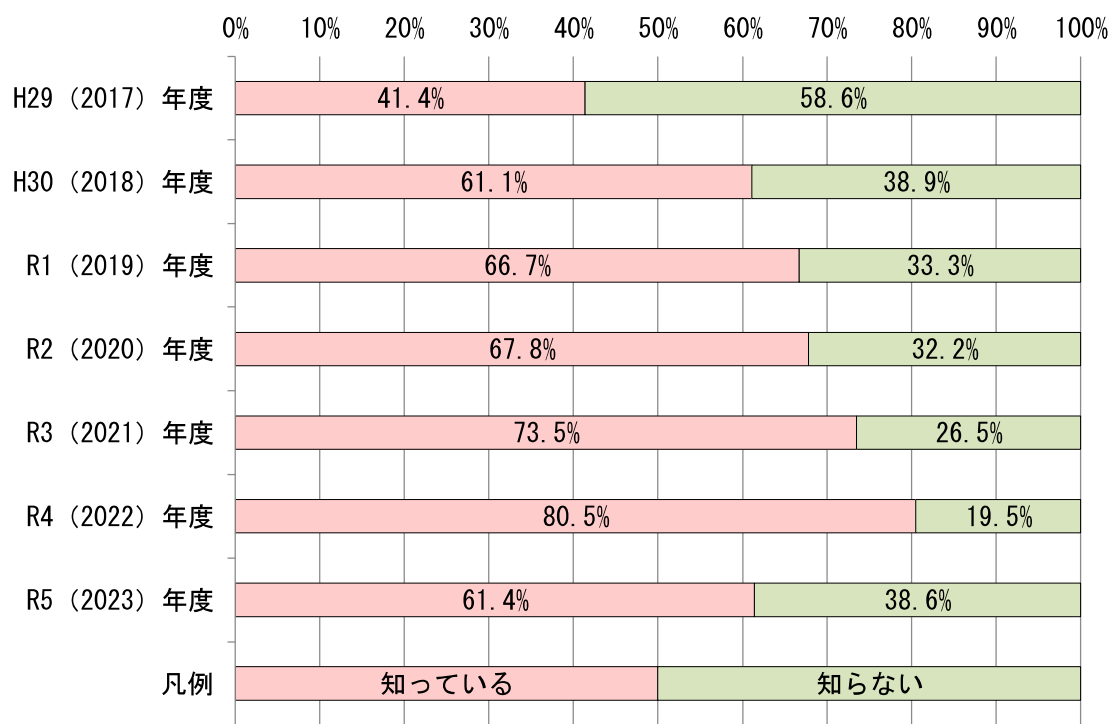
問 6 次の写真のような矢羽根の路面表示を知っていますか。

- 矢羽根の路面表示については、「知っている」が 61.4%で、最も多いです。
- 過年度でみると、昨年 R4（2022）まで「知っている」が増加傾向にあったが、R5（2023）は大きく減少しています。
- 利用別でみると、自転車を利用していない方で「知っている」が 44.1%と自転車を利用している方で「知っている」と回答した人と比べ、約 3 割近く低くなっています。
- 年齢別でみると「知らない」が 30 歳代で 45.9%、15～17 歳で 43.8%と他の年齢より高くなっています。

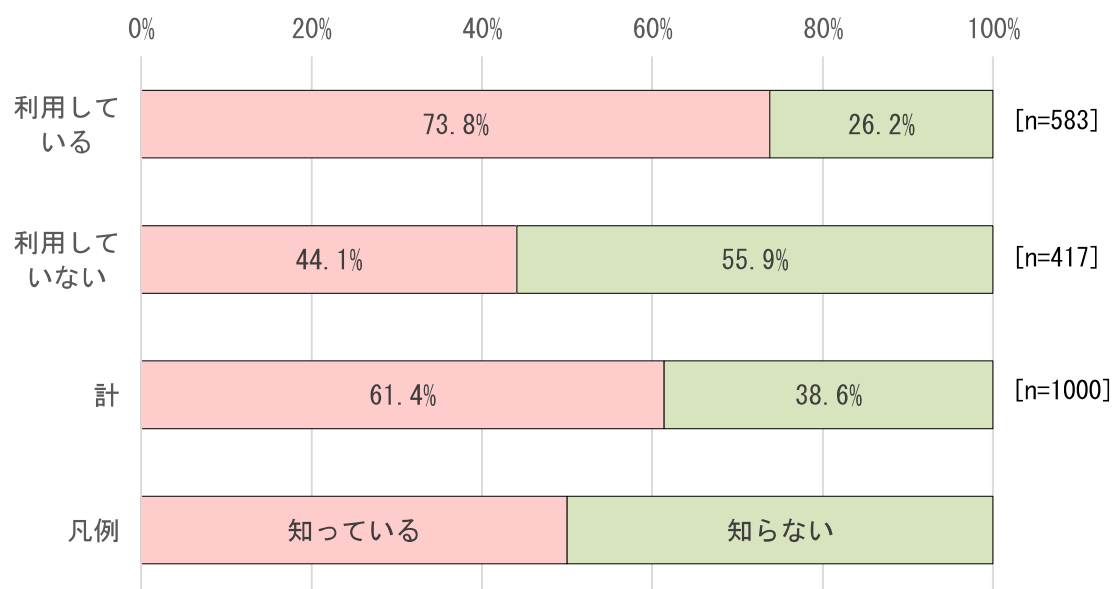
項目	回答数	割合
知っている	614	61.4%
知らない	386	38.6%
計	1000	100%



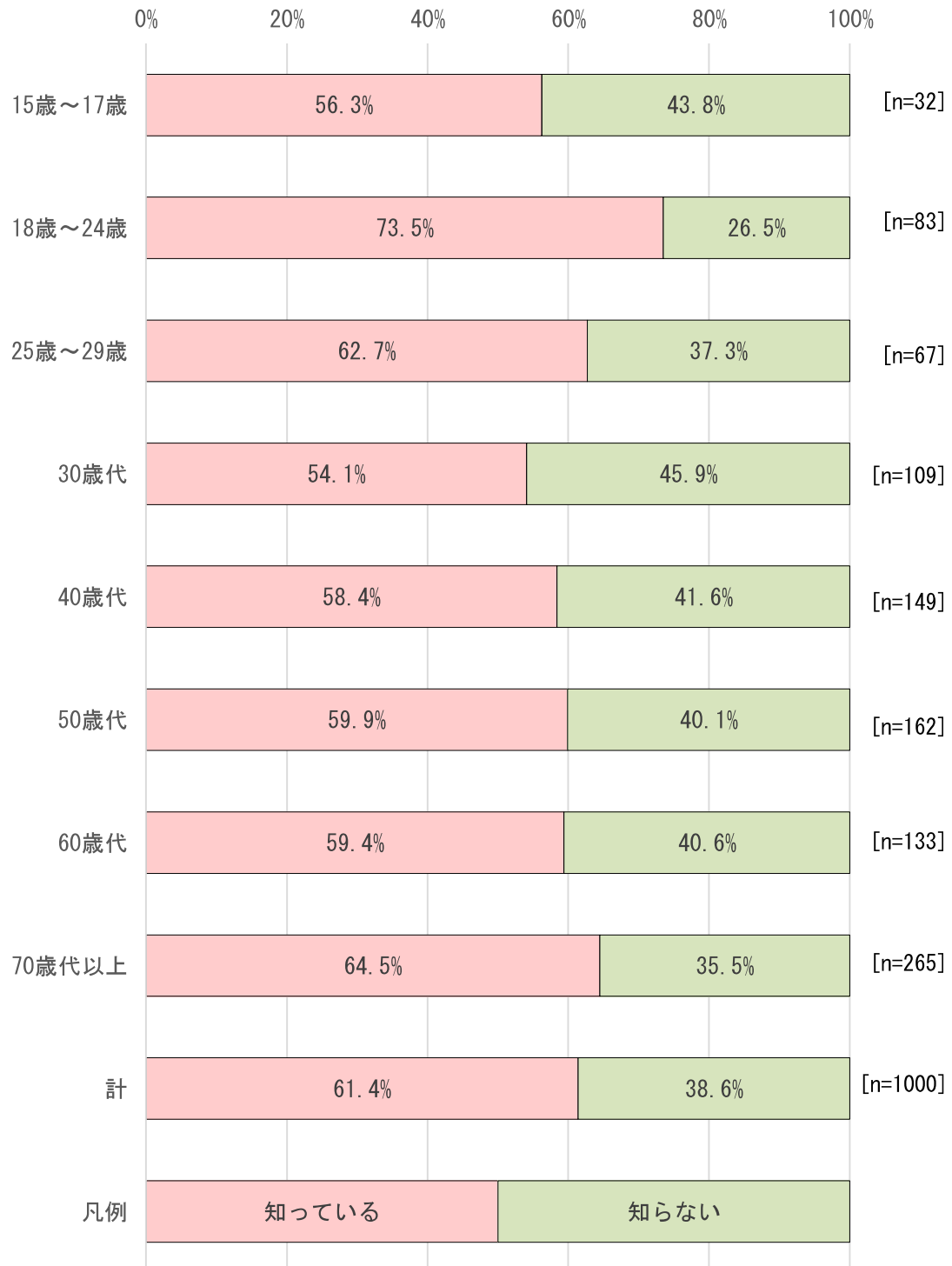
●過年度比較グラフ



●利用別グラフ



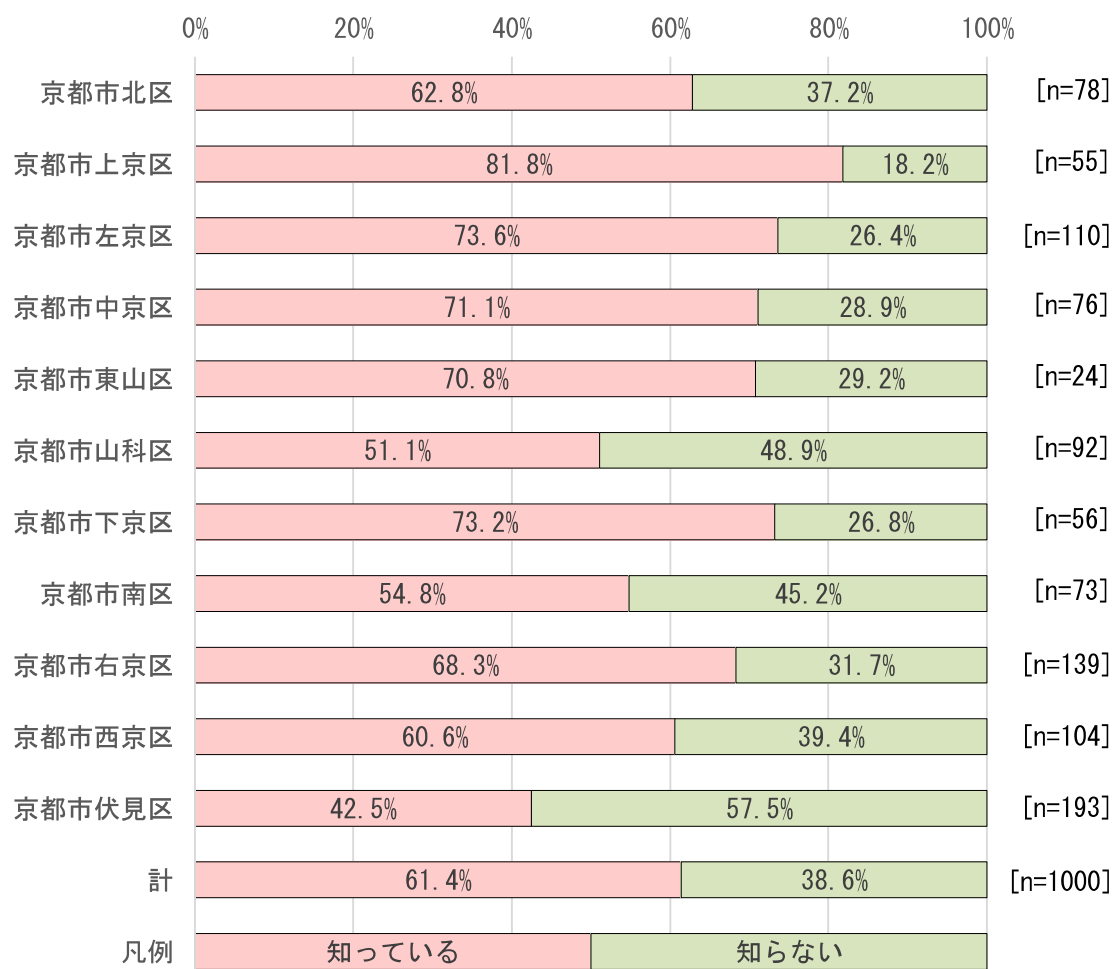
●年齢別グラフ



(3) 自転車の走行環境について

問 6 次の写真のような矢羽根の路面表示を知っていますか。

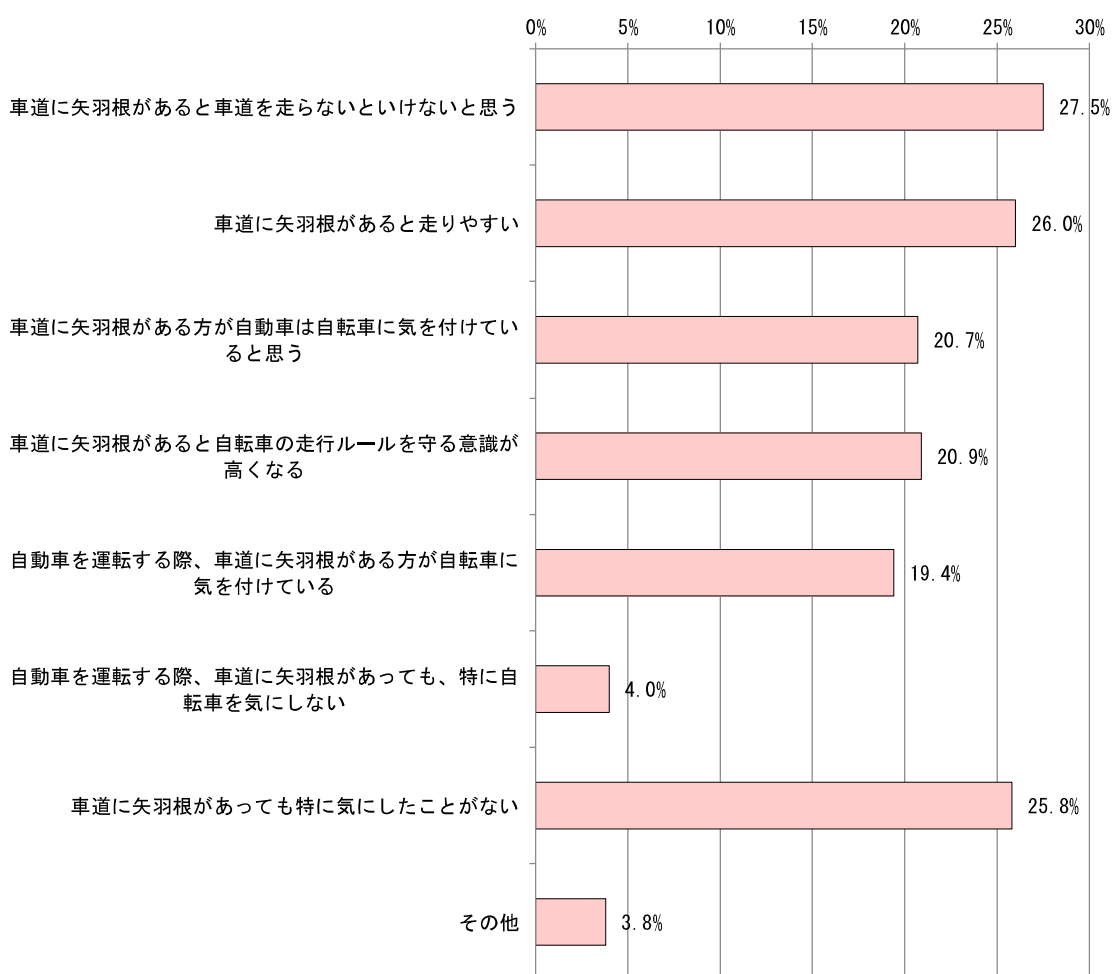
- 伏見区以外は 5 割以上「知っている」と回答した。
- 上京区、左京区、中京区、東山区、下京区は 7 割以上が「知っている」と回答した。
- 「知らない」では伏見区が 57.5%と最も高く、次いで山科区が 48.9%、南区が 45.2%と 高くなっています。



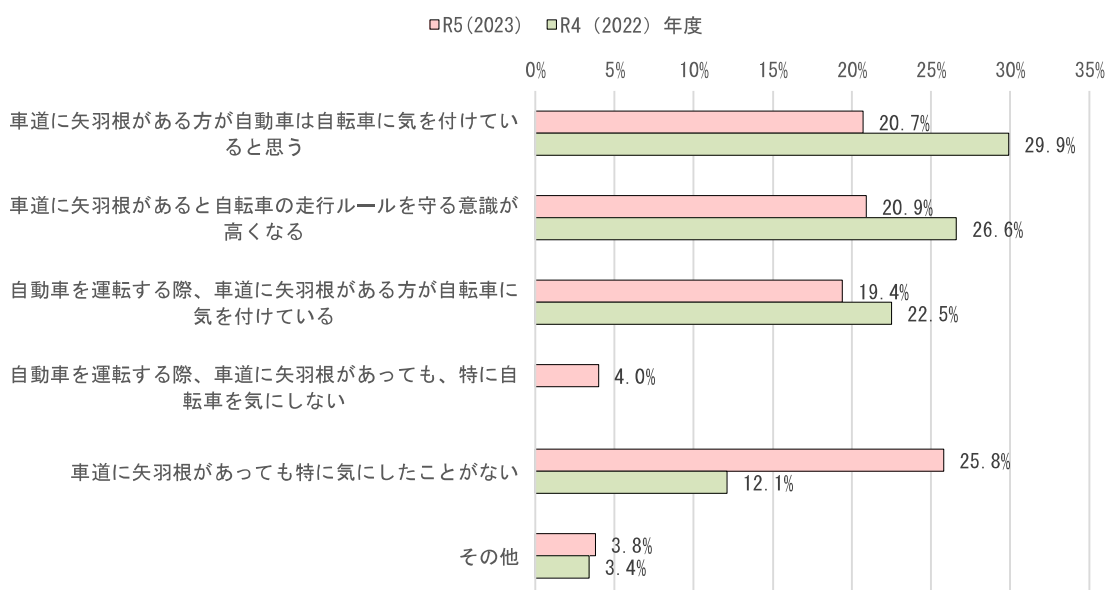
問 7 車道の路面に矢羽根や自転車マークなどの整備された道路を走行する際に感じることにどうおもいますか。（複数回答可）

- 「車道に矢羽根があると車道を走らないといけないと思う」が 27.5%と最も多いです。
- 2 位「車道に矢羽根があると走りやすい」が 26%です。
- 3 位「車道に矢羽根があっても特に気にしたことがない」が 25.8%です。
- 過年度でみると、「車道に矢羽根があっても特に気にしたことがない」が昨年 R4（2022）年より倍増しており、認知度が下がっています。
- 自転車を利用している方は、「車道に矢羽根があると走りやすい」と感じている方が最も多いです。
- 自転車を利用していない方は、「車道に矢羽根があっても特に気にしたことがない」が 37.2%と最も多く、利用している方よりも 2 倍以上多いです。

項目	回答数	割合
車道に矢羽根があると車道を走らないといけないと思う	275	27.5%
車道に矢羽根があると走りやすい	260	26.0%
車道に矢羽根がある方が自動車は自転車に気を付けていると思う	207	20.7%
車道に矢羽根があると自転車の走行ルールを守る意識が高くなる	209	20.9%
自動車を運転する際、車道に矢羽根がある方が自転車に気を付けている	194	19.4%
自動車を運転する際、車道に矢羽根があっても、特に自転車を気にしない	40	4.0%
車道に矢羽根があっても特に気にしたことがない	258	25.8%
その他	38	3.8%
回答数 計	1481	－
回答者数	1000	－



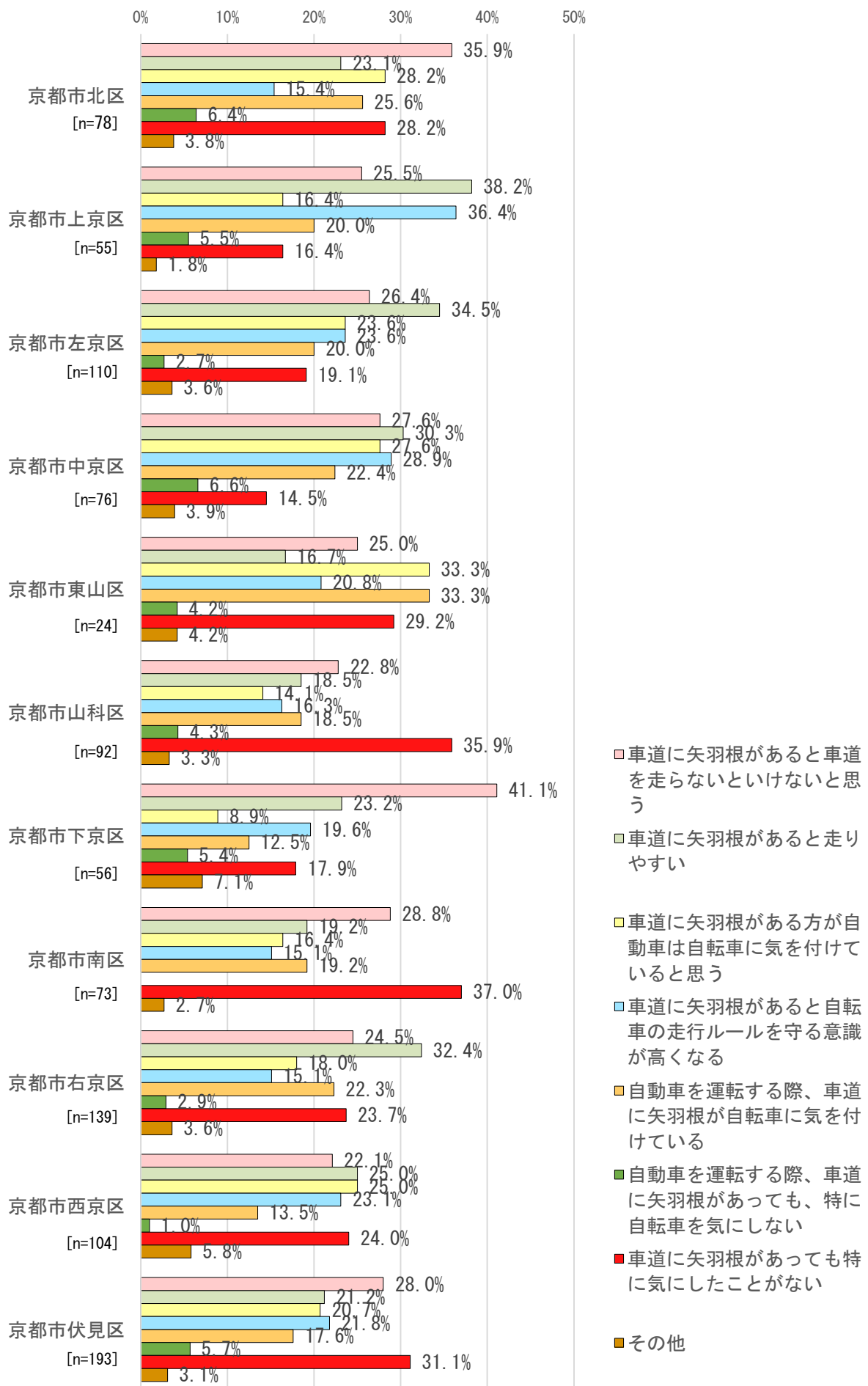
●過年度比較



問 7 車道の路面に矢羽根や自転車マークなどの整備された道路を走行する際に感じることにについてどうおもいますか。（複数回答可）

- 北区や下京区では、「車道に矢羽根があると車道を走らないといけないと思う」が約3割を超えています。
- 上京区、左京区、中京区、右京区、では「車道に矢羽根があると走りやすい」が3割以上と高くなっている。
- 上京区では、「車道に矢羽根があると自転車の走行ルールを守る意識が高くなる」が36.4%と他区より高くなっている。
- 山科区、南区、伏見区では、「車道に矢羽根があっても特に気にしたことがない」が3割越えと他の区に比べ高くなっています。

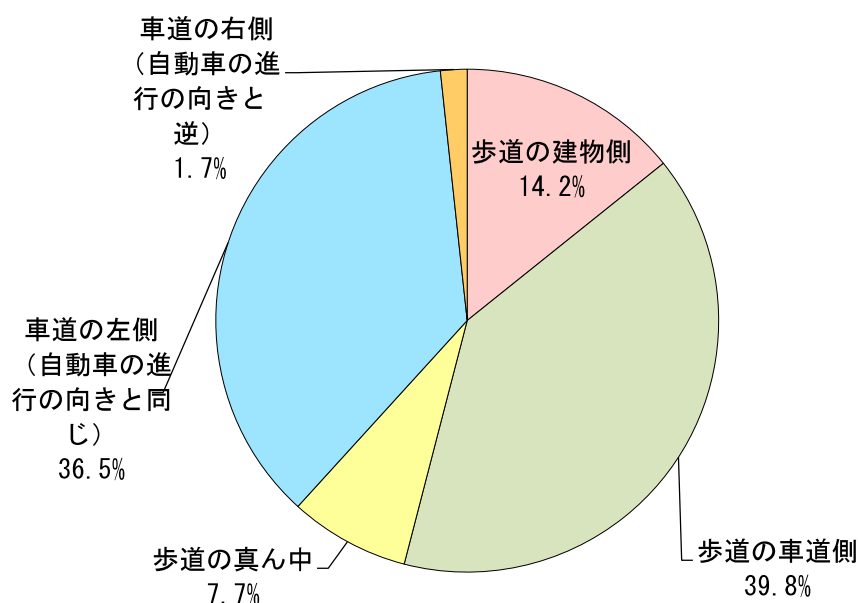
[\[次ページへ\]](#)



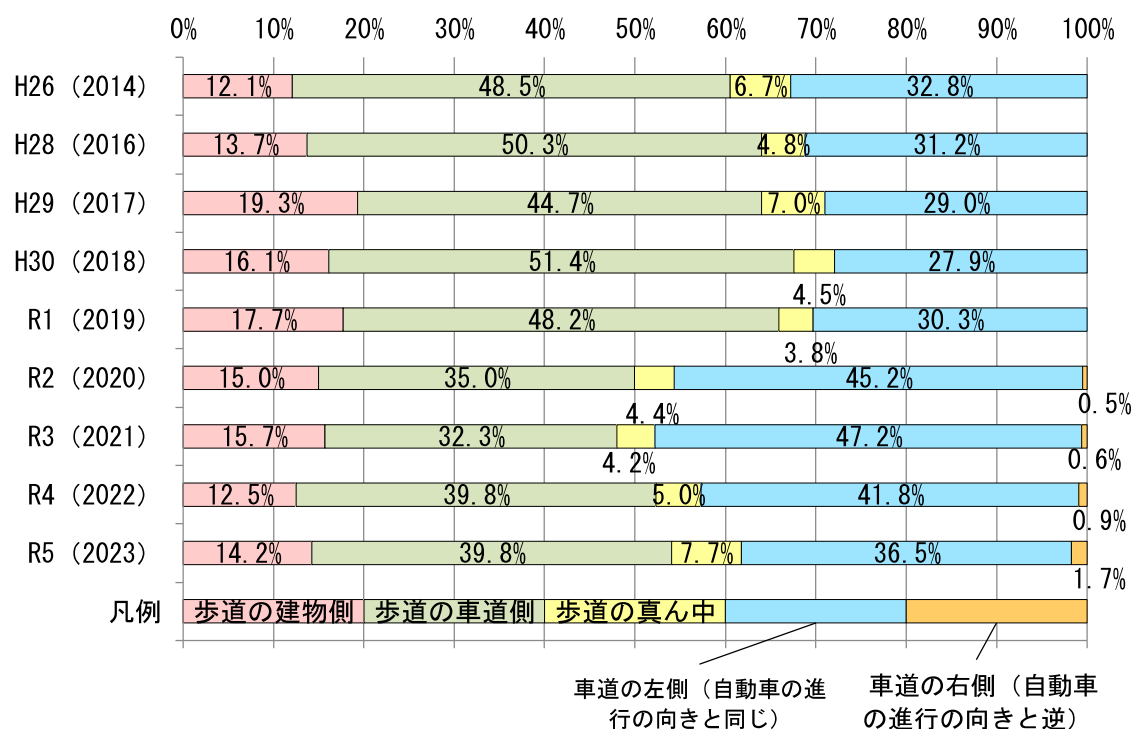
問 9-1 歩道のある道路を自転車で走行する際、どこを走ることが多いですか。もっとも当てはまるものをお答えください。歩道がある道路を走行しない方は、走行することを想定して回答してください。

- 「歩道の車道側」が 39.8%と最も多いです。
- 2 位「車道の左側（自動車の進行の向きと同じ）」が 36.5%です。
- 3 位「歩道の建物側」が 14.2%です。
- 「車道の右側（自動車の進行の向きと逆）」が 1.7%と最も少ないです。
- 「車道の左側」は昨年度に比べ、約 5.3 ポイント減少しています。
- 60 歳代では、「車道の左側」の利用が他の年代より最も少なく 29.2%で、「歩道の車道側」が 50.0%と他の年代より最も多くなっています。
- 区別では、上京区で「車道の左側（自動車の進行の向きと同じ）」が 52.4%と最も高く、山科区では 21.3%と最も低くなっています。
- 「歩道の車道側」を利用している方は中京区が 58.7%と最も多かったが、「歩道の真ん中」を利用している方はいませんでした。

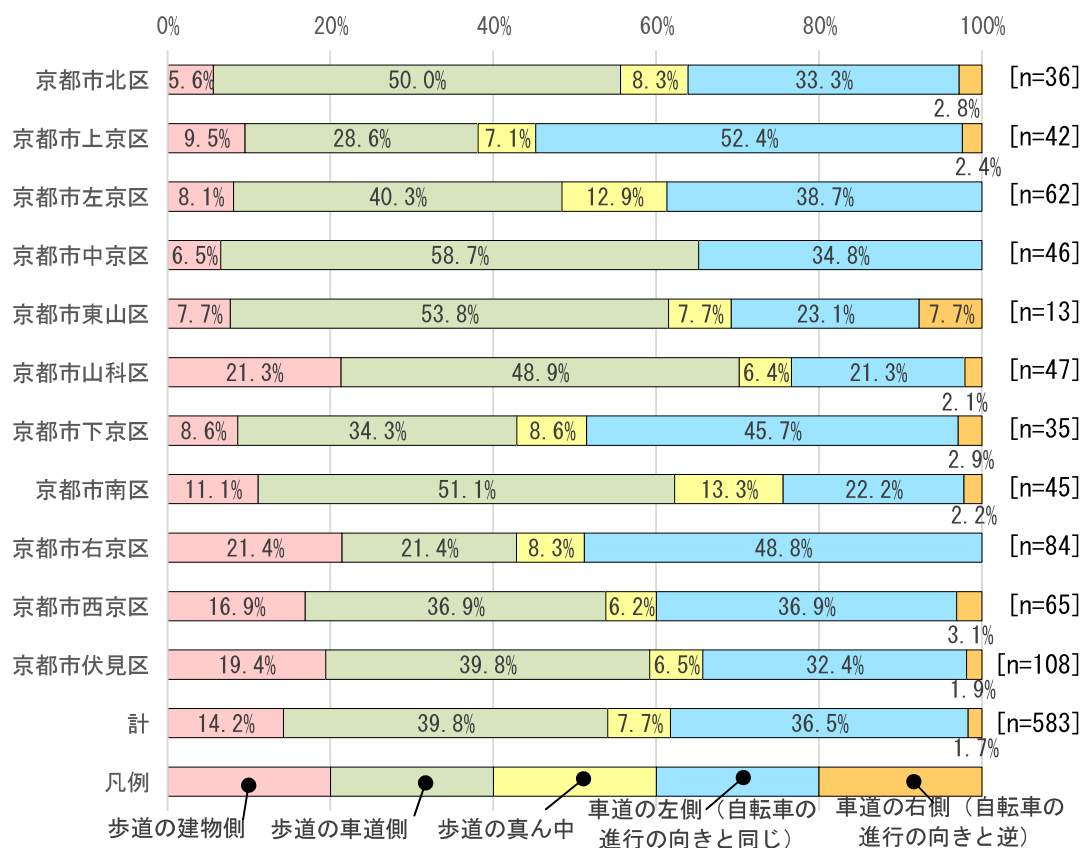
項目	回答数	割合
歩道の建物側	83	14.2%
歩道の車道側	232	39.8%
歩道の真ん中	45	7.7%
車道の左側（自動車の進行の向きと同じ）	213	36.5%
車道の右側（自動車の進行の向きと逆）	10	1.7%
計	583	100%



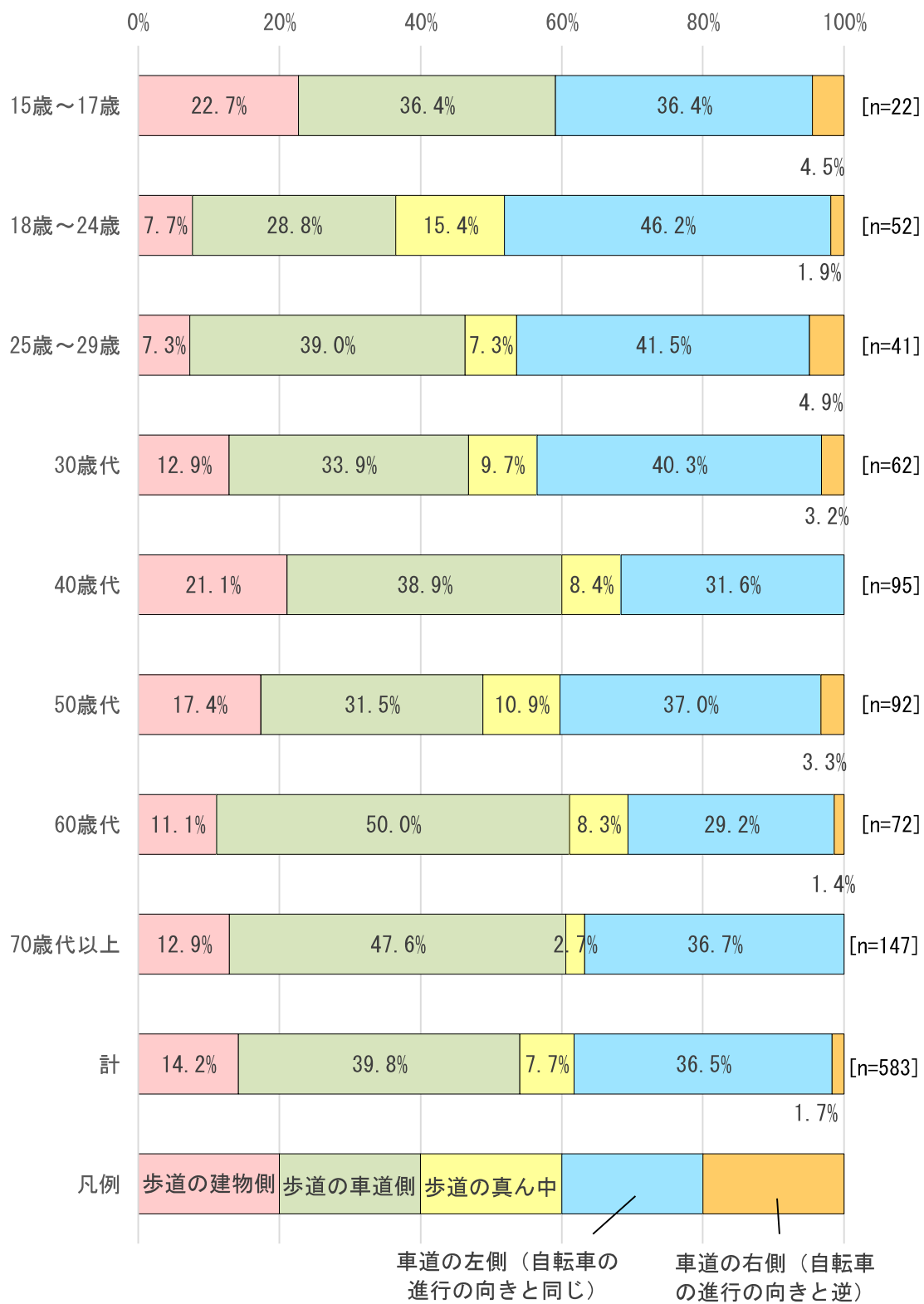
●過年度比較グラフ



●居住地（区）別



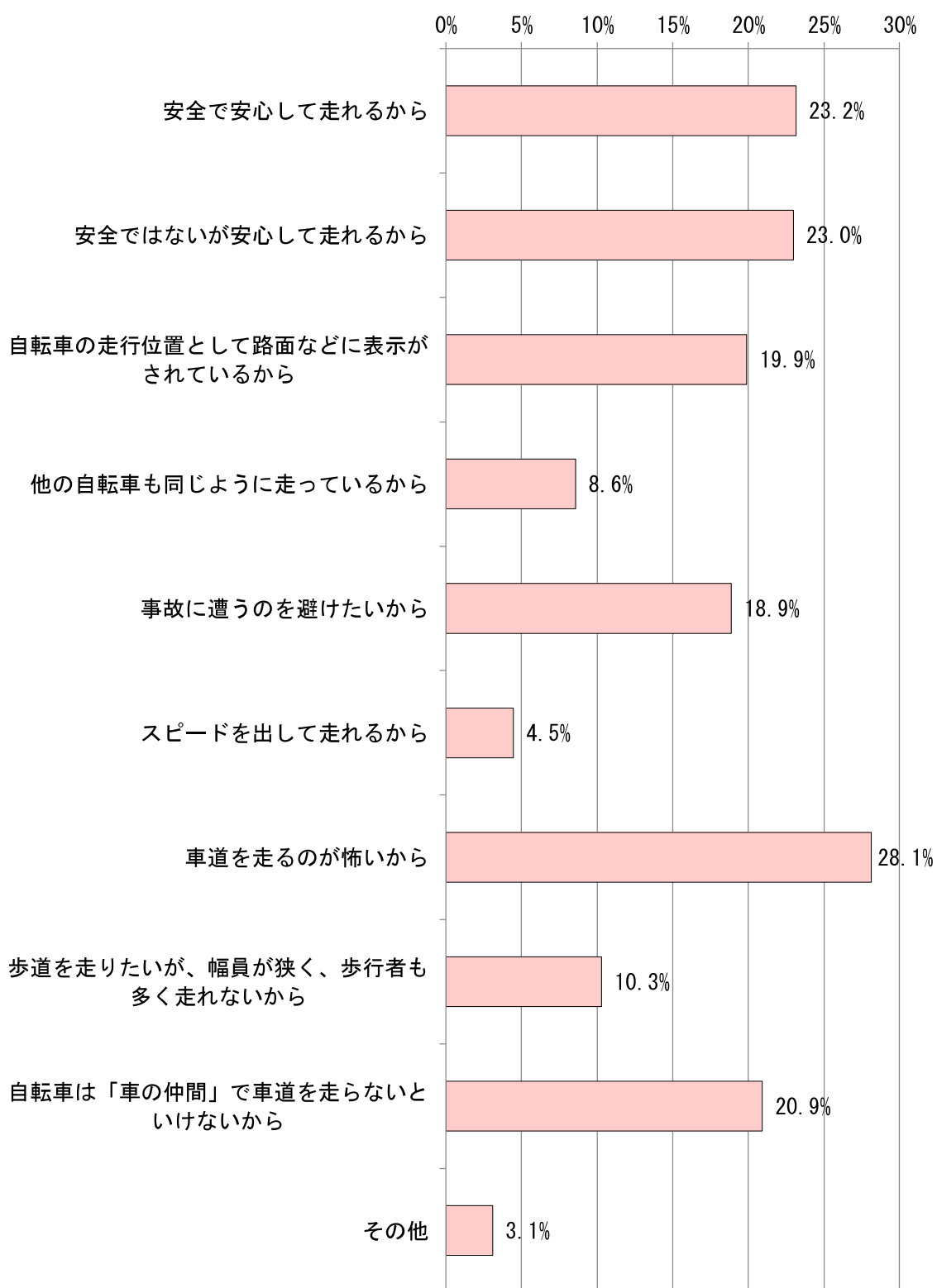
●年齢別



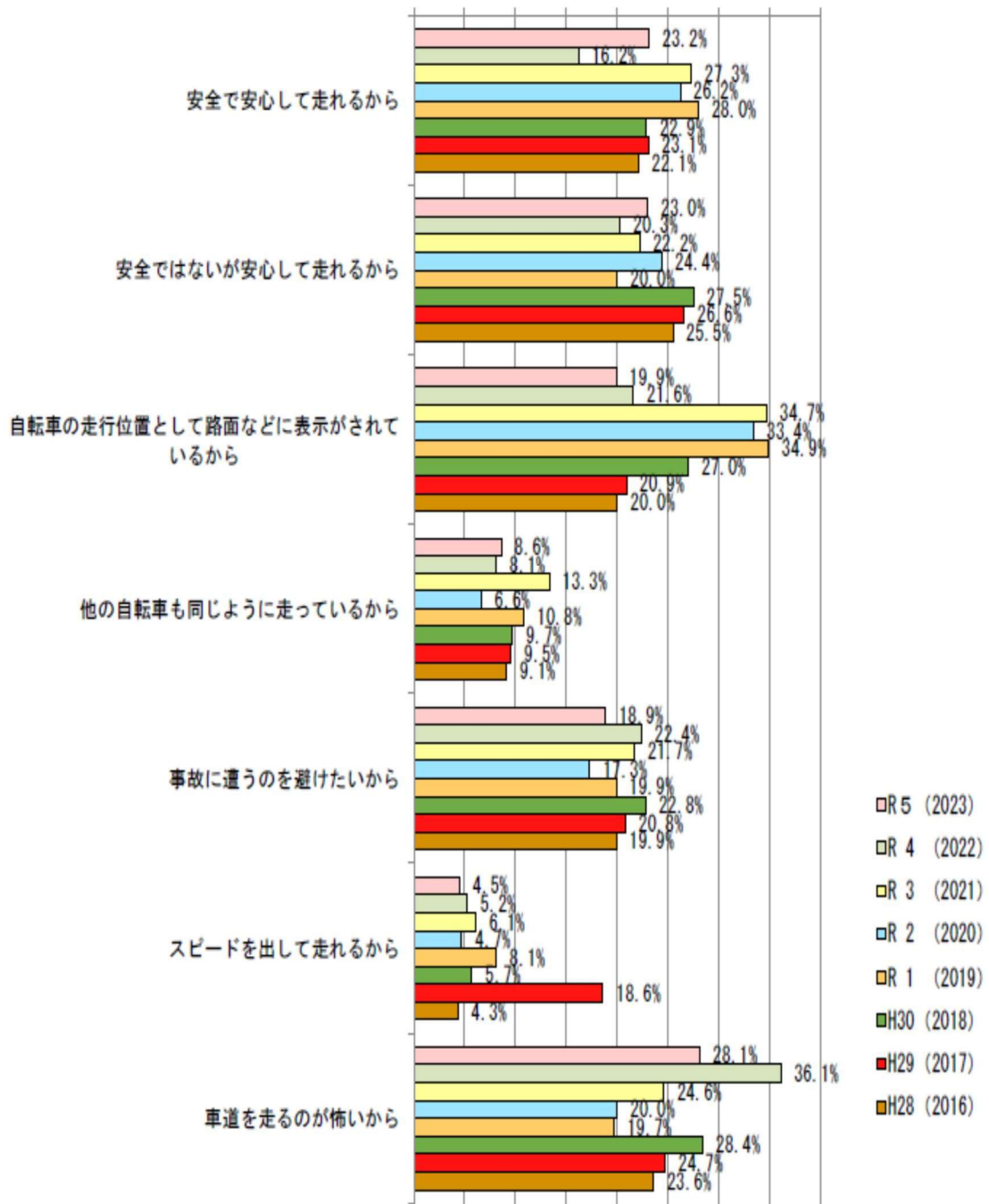
問 9-2 普段、「問 9-1 回答(例：歩道の建物側)」を走行する理由をすべてお答えください。(複数回答可)

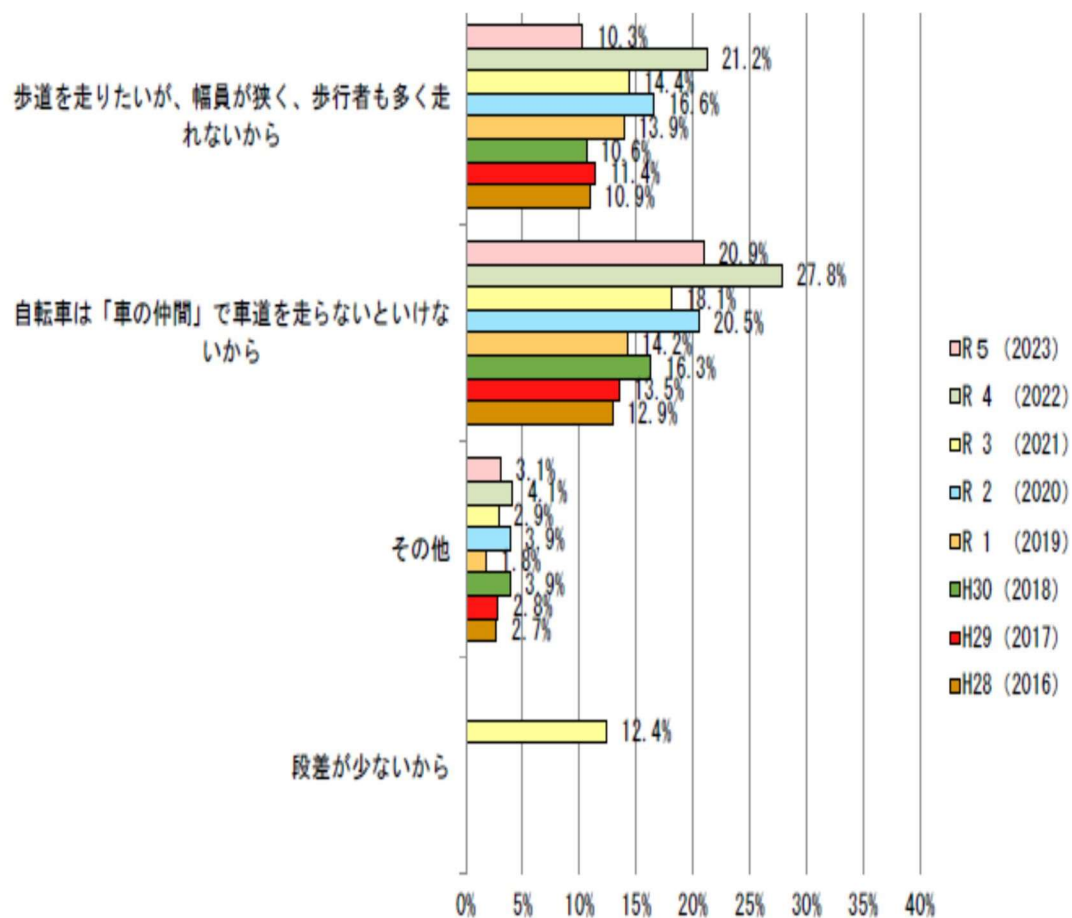
- 「車道を走るのが怖いから」と回答した割合が 28.1%で最も高く、昨年度の 36.1%から減少しているが、依然として自転車利用者の中で車道走行に対する恐怖心がある方が多いと思われます。
- 「自転車は「車の仲間」で車道を走らないといけないから」という回答は 20.9%で、昨年度の 27.8%から 6.9%減少しています。
- 「自転車の走行位置として路面などに表示がされているから」という回答は 19.9%で、昨年度から減少しており、ピーク時の R1 (2019) 年度の 34.9%と比較すると、15%も減少しています。
- 走行位置別でみると、歩道を走行する方の理由として、「車道を走るのが怖いから」が高く、他に「安全で安心して走れるから」や「事故に遭うのを避けたいから」が高いです。
- 車道の左側を走行する理由としては「自転車は「車の仲間」で車道を走らないといけないから」が高く、次いで「歩道を走りたいが、幅員が狭く、歩行者も多く走れないから」が高いです。

項目	回答数	割合
安全で安心して走れるから	135	23.2%
安全ではないが安心して走れるから	134	23.0%
自転車の走行位置として路面などに表示がされているから	116	19.9%
他の自転車も同じように走っているから	50	8.6%
事故に遭うのを避けたいから	110	18.9%
スピードを出して走れるから	26	4.5%
車道を走るのが怖いから	164	28.1%
歩道を走りたいが、幅員が狭く、歩行者も多く走れないから	60	10.3%
自転車は「車の仲間」で車道を走らないといけないから	122	20.9%
その他	18	3.1%
回答数 計	935	—
回答者数	583	—



●過年度比較グラフ

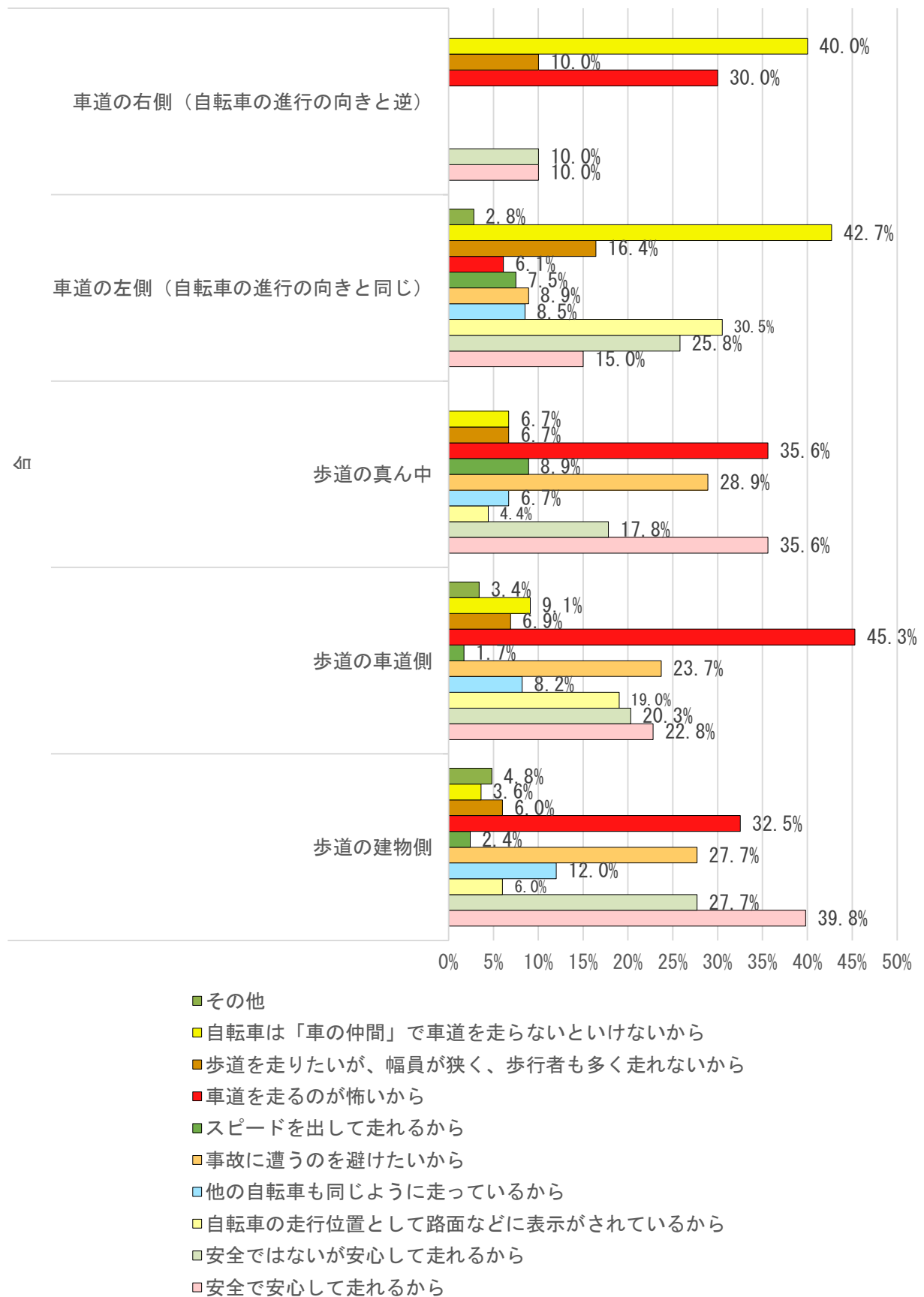




●走行位置別集計表

項目	回答数						割合					
	歩道の建物側	歩道の車道側	歩道の真ん中	車道の左側（自転車の進行の向きと同じ）	車道の右側（自転車の進行の向きと逆）	合計	歩道の建物側	歩道の車道側	歩道の真ん中	車道の左側（自転車の進行の向きと同じ）	車道の右側（自転車の進行の向きと逆）	合計
安全で安心して走れるから	33	53	16	32	1	135	39.8%	22.8%	35.6%	15.0%	10.0%	23.2%
安全ではないが安心して走れるから	23	47	8	55	1	134	27.7%	20.3%	17.8%	25.8%	10.0%	23.0%
自転車の走行位置として路面などに表示がされているから	5	44	2	65	0	116	6.0%	19.0%	4.4%	30.5%	0.0%	19.9%
他の自転車も同じように走っているから	10	19	3	18	0	50	12.0%	8.2%	6.7%	8.5%	0.0%	8.6%
事故に遭うのを避けたいから	23	55	13	19	0	110	27.7%	23.7%	28.9%	8.9%	0.0%	18.9%
スピードを出して走れるから	2	4	4	16	0	26	2.4%	1.7%	8.9%	7.5%	0.0%	4.5%
車道を走るのが怖いから	27	105	16	13	3	164	32.5%	45.3%	35.6%	6.1%	30.0%	28.1%
歩道を走りたいが、幅員が狭く、歩行者も多く走れないから	5	16	3	35	1	60	6.0%	6.9%	6.7%	16.4%	10.0%	10.3%
自転車は「車の仲間」で車道を走らないといけないから	3	21	3	91	4	122	3.6%	9.1%	6.7%	42.7%	40.0%	20.9%
その他	4	8	0	6	0	18	4.8%	3.4%	0.0%	2.8%	0.0%	3.1%
回答者 計	135	372	68	350	10	935	－	－	－	－	－	－
回答者数	83	232	45	213	10	583	－	－	－	－	－	－

●走行位置別集計グラフ



●「その他」で記載されていた参考意見集

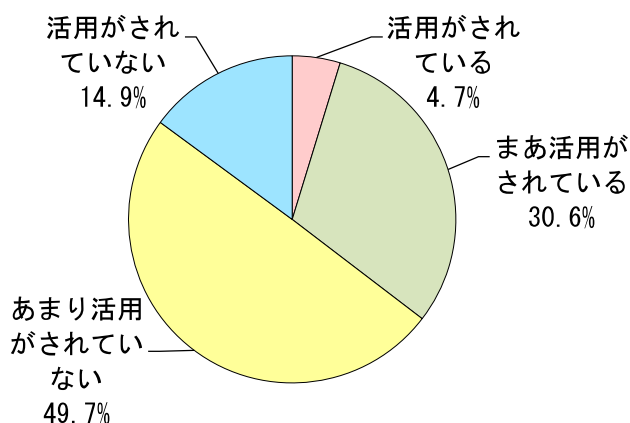
項目
原則、左側走行だから
左側通行だから
歩行者がいれば優先で、誰もいなければ、走行する
歩行者が安心して歩道を歩けるから
警察に捕まりたくないから
車道側

自転車利用実態調査結果（評価指標（５）関連設問）

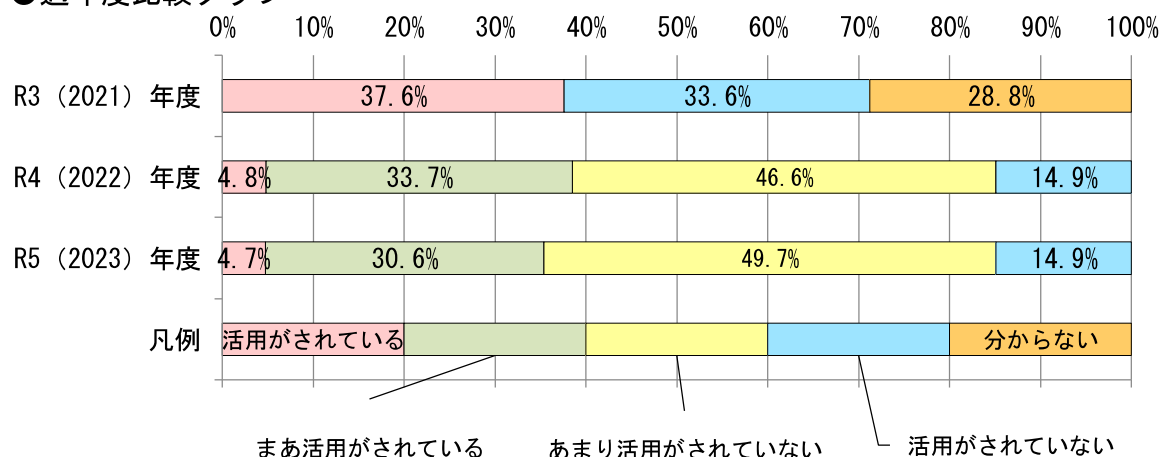
問 33 健康増進や観光振興等、多様な場面で自転車が活用されていると感じますか。

- 「あまり活用がされていない」、「活用がされていない」が昨年度よりも 3.1% 高くなっており、活用されていないと感じている割合が増加傾向にあります。
- 男女別にみると「あまり活用がされていない」、「活用がされていない」の合計が男性で 69.2% と、女性よりも 9.1% 高くなっており、男性の方が「活用されていない」と感じる傾向が強いです。
- 利用目的別にみると「買物などの日常生活」、「通勤」、「趣味（サイクリング）」が 6 割を超えており、中でも「趣味（サイクリング）」で 64.3% も「活用されていない」と感じられています。

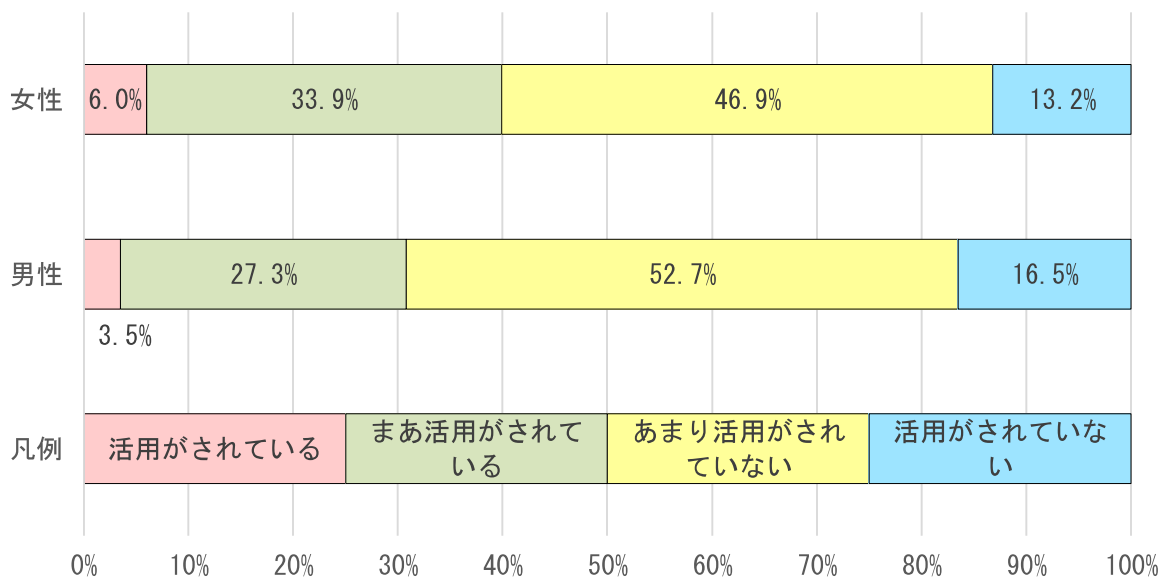
項目	回答数	割合
活用がされている	47	4.7%
まあ活用がされている	304	30.6%
あまり活用がされていない	493	49.7%
活用がされていない	148	14.9%
計	992	100.0%



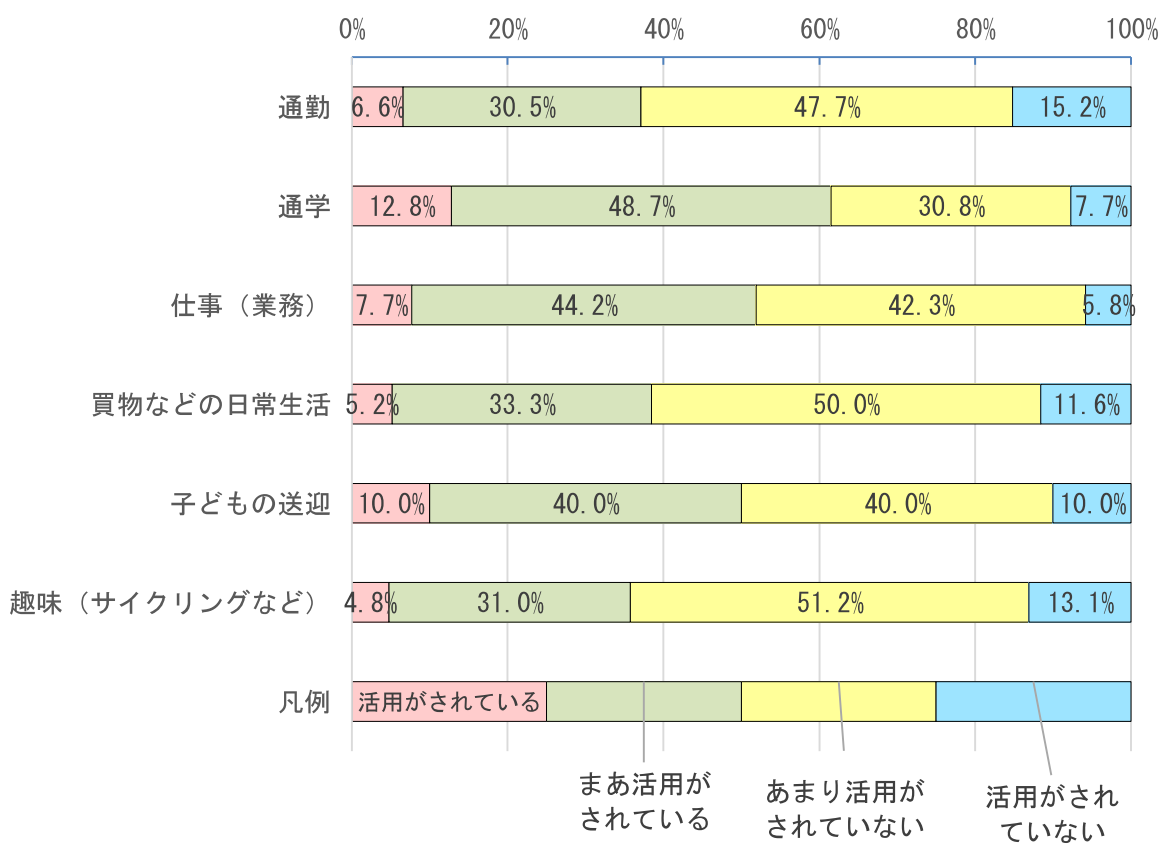
● 過年度比較グラフ



●性別グラフ



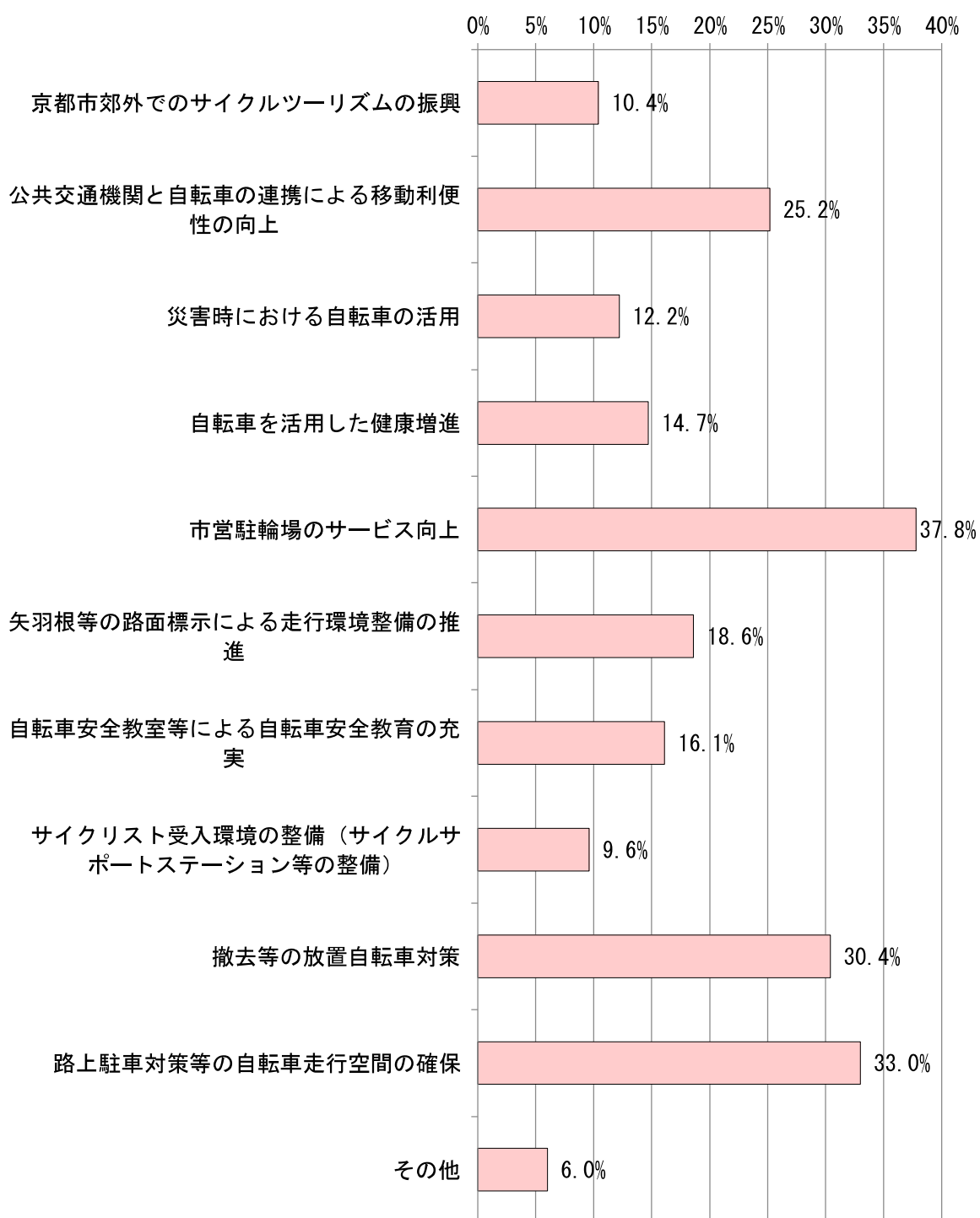
●利用別グラフ



問 34 あなたが京都市の自転車政策において、優先して実現してほしいものをすべて選んでください。（複数回答可）

- 「市営駐輪場のサービス向上」が 37.8%と最も多いです。
- 2 位「路上駐車対策等の自転車走行空間の確保」が 33%となりました。
- 3 位「撤去等の放置自転車対策」が 30.4%となりました。
- 自転車を「利用している」方では「市営駐輪場のサービス向上」が 42.31%と一番高く、自転車を「利用していない」方では「撤去等の放置自転車対策」が 36.14%と一番高くなっています。

項目	回答数	割合
京都市郊外でのサイクルツーリズムの振興	104	10.4%
公共交通機関と自転車の連携による移動利便性の向上	252	25.2%
災害時における自転車の活用	122	12.2%
自転車を活用した健康増進	147	14.7%
市営駐輪場のサービス向上	378	37.8%
矢羽根等の路面標示による走行環境整備の推進	186	18.6%
自転車安全教室等による自転車安全教育の充実	161	16.1%
サイクリスト受入環境の整備（サイクルサポートステーション等の整備）	96	9.6%
撤去等の放置自転車対策	304	30.4%
路上駐車対策等の自転車走行空間の確保	330	33.0%
その他	60	6.0%
回答数 計	2140	－
回答者数	1000	－



「その他」で記載されていた参考意見集

項目	件数
すべての歩道での自転車と歩行者の空間分け表示	1
ない	24
わからない	19
スピードの取り締まりや一時停止	1
商店街などで凄いスピードで走行する自転車が多すぎる。止まらないから危ない。	1
罰則の強化	1
自分は乗ることが無いので税金をなるべく使って欲しくない。	1
自転車の利用促進を薦めたいなら駐停車禁止を徹底すればよい、車道を走りたいくても駐停車車輛が多すぎて急にドアを開けたり発進したり危険な状況が相当多いと云うのを先ず理解せよ。自転車通勤等を継続していない方々が机上の正論で質問をしても実態とは違う。	1
諦めています	1
警察による取り締まり	1
道の整備	1
道路路肩部の整備（崩れている）	1
駐輪場を増やす	1
合計	54